津頭總務のみ未決定

政策では二十一日午後九時安選内 安選内根底に脱、機内、嵩田の四議會に臨む院内後見経館のため民 より内根官邸に経館委員會を開き、東京二十二日登電通】第五十九 一根の大阪より歸京を待つて同十時

整鵬総合法、繁電信電話民警教職 事こなつたが議會提出法案につき 標飾の打ち合せたなした結果でき

寒齢の打ち合せたならた結果で見 寒њ難もあるが何分五分間の會議 海口草根ご敷原苗根代理を設問ニ十二日 柳薫満見神充を内定する客でその歌に幣原苗根代理を設問ニ十二日 柳薫満見神充を内定する客でその歌に幣原苗根代理を設問ニ十二日 柳薫満見神充を内定する客でその歌にないてはその地出地越の事情

院内役員の選舉(總務五名幹年後二時より議員總會を贈き中後二時より議員總會を贈き

全院委員長常任委員長候補者事務分謄の件

あすの

將領會議

北方問題最後決定

馮玉祥氏も参加せん

ける重要打合せ

幣原代理、首相

中度襲撃に々間に合はなかつた 事は遺憾であるが七年度には必 す實行するとから陸軍襲撃節約 は六年度襲撃に於て相當成績を 撃げてゐる

に一性すること、なつた、その他 出たが、紹展その繋続は瀬口郷寒

政友對議會陣容 あす議員總會で決定 郎、東郷質

機物、富田幹事長等の省際部が二階。後の紫鷺會様本が針については熱

11日午前十一一一代は水上器よりの翻路大阪融船にます。 支店に観意に表して解を表むるこ

動關係

滿洲北支の

三日午後一時から開會の筈・十大連市の第二回税務委員會は二十

芳ウ

醇キ

無の

覇

比ホワイ

ヰト、スホ

キー

朩

市稅務委員會

奉天電話】

通の貨物を同地に集中せらむる試費であるが倉庫は明若二月より起立する歌記ださ Pは整日の河北に東北谷線路職運事務所を設置し新にに大倉庫を選繁して北雲、潘常、

響は二十四日ごろ査定滅さなる模 響は二十四日ごろ査定滅さなる模

市豫算查定

題る猛然で誰に決定するか問本定の離れている。 の諸氏である、 励して全國は疾に 與黨院內役員

待命五、進級二、轉補百七十

補陸軍省人事局長

の定期異動

慎重に銓衡

十三日午後一時から本部に議員總に東京廿二日登電通』民政黨は二 東京側も結局出席か

業のでは個人さらて出席する事業は無いでは、 大二日午前十時より大阪殿の三氏 十二日午前十時より大阪殿の三氏 大型へて駅、藤原、根津氏等が工 を認めんごする空和殿屋ごなり二 四名の出席を見るものさされてゐか事さなつたが東京眺からも三、 の事情に押されて拒絶を撤回する

岡本連一郎

滿鐵驛施設改善

合せが比覧電家が推蔵する機骸であては起津、大地職氏は出牒を見場合は起津、大地職氏は出牒を見

勞働法案懇談會

野頭線等及院内役員開題を設論して日午前十時中で工業俱樂部に會見て日午前十時中で工業俱樂部に會見て日午前十時中工業自樂部に會見では、個内兩線等は二十二日登電通り民政黨役 與黨役員銓衡協議 日変電通】廿二日徐命

任少村

關東軍法務官更迭

のため往復ごも滿六ケ月間職者祭八日附を以て耳鼻城疾科警共親察

松并教授歐米出張

遼東

百貨店

洋酒部

香聚

周

関へ出張を命ぜられた

0

信社代表を搭変する舒

注文は

滿洲總代理店

豐

大連市山縣通百八十一番地

中谷局長招宴

十二日發電通』本日左の

安東縣總版賣店奉天總販賣店

金吉

多

店行

中沙川

山洋行

補支那駐屯軍司令官 香椎 浩平 神空耶駐屯軍司令官 清司

少將 解谷猪之彦 | 補關東軍々法會職法務官 古州 第十二師関軍法會議法務官

九ケ所に委員會設置 の結果は鐵道部長に報告すること なったが同研究會の設置されたの結果は鐡道部長に報告すること 大觀小觀 張中のさころ同上歸住 於ける温保大豆見本査 即氏C滿飆貨物係主任ン

酒渍

を際によるものあらん。 内戦励とさる中国の粉値さはい 大連に亡命し來る。 あす

おりというでは、 を表して、 のでは、 のでは、

代の政戦、楊湛きを続はしむ。容響順にから、經濟、外交團艦時にから、經濟、外交團艦時 職無疑のためまあるからには、今 静意を表明、その目的、市職の私 思山市會議長、監々けふ正式に 院監も同じ機の蘇。 後の市會は崩潰されやう。

年制度

0

ゝなった、而して際像研究會は滿

長 城崎茂四郎

森下知次郎

種程度商業に

中野次官に

極力留任を動告

商工學校改組に決定

佐間壁につき臨床した容果女とさ

荷入數多型新 米國ツノ 荷 御 知

5

御 本各地名産. クリスマスの贈り物 界各國酒類 東京風菓子謹製 歲 月の御準備品 幕の御贈答品 食 00

東北各鐵路營口 聯運事務所を設置 明春二月工事に着手

てるたやうで のはその馬豚のようという 大野ららい様 節が強率し いから本年のやうに少ら不鬱紅いから本年のやうに少ら不穏がないから本年のやうに少ら不鬱紅いなるでいます。 それさい を診験取りこ金く髪らねやうに 場合が多いのである。佛も摩睺 も時代の整選に性ひ、昔のやう な馬駿こしての総縁がなくなり を診験としての総縁がなくなり からすれば越て配がになったさなったのであるから、ある意味

政府當局の答案

する

り既衆せの、が然らざるさきはれてゐる場合は流石の賦目も除

でのパロメメーターであるさい

さいはるゝ八面感謝近は緑林のないはない、支那電影の感信を全れな難

走

史

の真民が特定を積ん を の真民が特定を積ん

あつたが、流行の事情通も興遊

はいので結局が低の巴むなさし

勢農黨役員

公債政策等

やだか、他のではある。 を表しているのではある。 を表しているのではある。 を表しているのではある。 を表しているのではある。

のであるから迷惑子萬さいはれ 関内な離がすやうなこさがある

は幅かの

んで附屬地へ であるここは明瞭な事實で、一 も馬賊が支那の軍撃を馬鹿にも

那酸電鉱の特別の注意を喚起せせいさも殴らぬ。 われ 〈 は支心さも殴らぬ。 われ 〈 くは支心さも殴らぬ。 かれ 〈 くは支の出資が緘黙である。この分で

土匪で除来などに荒ら抜かれて

では地震などのお歌はは が、 の出来らから知れなが、 のまないから呼吸の出来らから知れなが、 郷安なが の出来らから知れなが、 郷安なが の出来らから知れなが、 郷安なが

東京二十二日發電通 | 勢急震災 ・ 東京二十二日發電通 | 勢急震災 ・ 東朝行委員長 大山 郁夫 ・ 東記長 田部井後雄 ・ 中央委員 三十五名 市會議長後任

依然大內氏有力

型を現て抗震さるものと認られて 動を現て抗震さるものと認られて 大多い。 を表の手能まで提出さるべく後低。 市長の手能まで提出さるべく後低。 でいよく、静表もツレさ同時に 市長の手能まで提出さるべく後低。 でいよく、静表もツレさ同時に でいよく、静表もツレさ同時に でいまで提出さるべく後低。

味自慢かる ばこ羊羮

年末年始の御贈答品は本品におきめ下さい何よりも党にれる品で御ざいます、叉正月の重詰産さして最適で御ざいます。マシに拘らす御注文次第御屆申上ます(籍へ)三本人、五本人、七本入中上ます(第一)三本人、五本人、七本入中上ます(第一)三本人、五本人、七本人

電話八五八一番號

itory Daily nade A

滿蒙毛織性直賣所 電話二九六二番 振替口座大連二六一九番

一、、一、、 品場時期 種所間日 毎日午前九時より午後七時迄 七番地

第製品各種取揃へ候外羅紗端切、毛布特價見切新製品各種取揃へ候外羅紗端切、毛布、毛糸、其他 一、品種 羅紗、サージ、毛布、毛糸、其他 一 場所 流速通り十七番地直 賣所

一、期日同出五日まで入日間で付き何卒御光來の榮を得度此段御顧申上候に付き何卒御光來の榮を得度此段御顧申上候工月十八日より入日間の一、期日に付き何卒御光來の榮を得度此段御顧申上候

1ス

ソノラー A 1 4

東語十件 勢町店

書気に乗撃した記載地裏所に入鞭したっこう
・カーローを介し乗艦気を購入乗
・サニョスートローを介し乗艦気を購入乗

副官等準備を整ふ

管であるが、この職能地居住のさ 等外二十數名で一同點石職に貼く 等外二十數名で一同點石職に貼く

介石氏の馬や

つかる

田中 當 音

一四〇六八

非常な接戦を期待

満鐵に提出

民營旅館會社の具體案

の

「はて居然」

「はている」

「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「はている」
「

干八百五

野金の郷徳は四萬朝子園に上つては全國祭職経過以社會事業膨胀にて 金の御沙汰あり、二十二日午後二時一木宮継は各代奏者な宮内書に 時一木宮継は各代奏者な宮内書に

港橋で船乗り

偽刑事に引掛る

ピストルをもつて威喝

日午後二時より大 靈祭

なすこと等が骨子である 場所資金の借入を場際出資により得

古末松四氏連署で 特出資を得いた在海

震災遭難者慰

會吐酸3に関する 振館が全部の現場の現場で 長神宮が野衆さし れた買取して旅

家、機本の正融寮主以下十餘名に 際式、式は融道谷敷の月番穀事飯 の大学多敷、勝俣氏の挨拶にて

子に木織兵党幣をさげて給死し 居るのな同院頻棟電視人が養見 に土井郷土が腰線手能を離した

動大連民政警長代理、滿頭線鐵代 続行、髪列者は出中大連市長、若

京區大常八條與電影東等境内伽索。京區大常八條與電影東等境内伽索。本東海大師候の干非觀音像及び一名な理滅大師候の干非觀音像及び一名な理滅大師候の干非觀音像及び一般。

抵密莫大の見込みで目下取調中 明か提灯から失火したものらしく

がこれも局有に除した、脱版は総常駒の筆に成る雲龍の締があつた

現金職定中合語が市場現金出継係會 でゐることは屢

が合は知りに織りに流れ込ん 管諸係窓腰大郎が をごろ鷹西亞町魚が 見變造紙 して傷造質幣、 では一般家庭に注意を聞してゐる 庭磯野県彦芹島中標地は、のを養見したが、財職の総果、(協恵町市場生したが、財職の総果、(協恵町市場生したがのを養見

本銀行一国紙幣な も外行はれ村松氏主要

歳暮の御買物は浪華洋行へ

御贈答品、

御迎春用品破格提供

精神病患者

大連聖愛分院で

大連黄金町廿七番地黒田鶏吉(金)大連黄金町廿七番地黒田鶏吉(金)

イシャツ

子

二側五十錢より二十三圓より

自自シ中中シ キン折山ク ヤグ蝦帽へ

ヤグ帽帽ツ

紳士用品

年

りよ日三十二

京都伽藍焼失す

國寶二點をも鳥有

ヘナに滞留中である

煙草から失火

磐城町の火事

賣籐大仕奉の尾掉年本行洋華浪:

毛フ及ス

テカチーツ

國製國國

連大

浪

電話(代

表

五

t

母名何ひ洩れも有之個見舞を辱ふし有難

藤物 豐產

荷

々柄

冤小 類鳥新 ヤ其他色山

WINE SETTING 22-00 2.50 12.00 15•00 3.00 3.90 1.00 4.50

3.00

すの高値を流しその値段は内地品ではこの結果いつかは秘族さ上級 薫順 こ言はれこれと反對に昨年同 | 数別の高値を流しその値段は内地品ではこの結果いつかは秘族と上級 | 薫順 | 数との間が次第に接近しやがては | 即は秘族が総式一萬七千鑑要の安幡無理から極度の秘族の | 比例して地族は陰族も増加し値段 | お優における本年最近の院族は | 七萬頓と言ふ既態であった。職と | 一次の情感をつまけでうさ | 一次の情感をであり、ことと | 一次の情感をであり、最近の財政に対した。 | 一次の情感をであり、一次の情感をであり、ことと | 一次の情感をであり、最近の財政に対した。 | 一次の情感をでありた。 | 一次の情感をでありた。 | 一次の情感をでありた。 | 一次の情感をでありた。 | 一次の情感を変響に見るも内地 | 一次の情感を変響を表現している。 | 一次の情感を変響を表現している。 | 一次の情感を変響を表現した。 | 一次の情感を変響を表現している。 | 一次の情感を変響を表現している。 | 一次の情感を変響を表現している。 | 一次の情感を変響を表現している。 | 一次の情感を表現している。 | 一次の情感を表現を表現している。 | 一次の情感を表現している。 | 一次の情感を表現している。 |

東京二十二日發電通】畏き過で

是非、大連上空を

九三

社會事業團體 に賜金傳達

人類な集めてゐる

航程を

貧困者に同

※四日に合いるは、一日では、

通』大西洋横脳のイタリー飛行窓 除中十二機は二十一日午前十時ス でインのカルタヘナを出験、第二

って大いに市民の航空思想を養成って大いに市民の航空思想を養成さて難って極ってあるが来年は是

元があるので會社側では仕事がした。

方々賞博したいさ會社館での希望の大いに市民の航空思想を養成

り、六人滿貴さしても一人體り食ニバーサル六人郷で五百間餘かゝ

質四十個で二百四十個だから到底

飛行戦用がフォッカースーパーユ大連から京城まで約六百キロ此の

ば~筆識歌の役割の役割の役割の

本部に送り駆戯の

進出総解は意外で

である(寫真は櫻木梅子)

伊飛行艇隊

水源地派出所より沙河口署へ

も規則に從ふ限り許可するさの事

中、来客に無效乗車劣を買ってる 中、来客に無效乗車劣を買ってる でいる。以廿一日午後入時ごろ従業

車掌が賣る

偽せ電車切符

何處の山元

で母貯炭量激減し

れ行き

場等の震撃が最近に動きる。 ・ はなってるる。 ・ はなってるる。 ・ はなってるる。 ・ はなってなり、 ・ はなってい所であらうが、 ・ はなっなりはは、 ・ はないでは、 ・ はないで、 ・ は、 ・ は、

途中、市内山縣通り港橋附近で三 大野前後の支那人が呼び止め「幣は利事だ」とピストルなもつて暗は利事だ」とピストルなもつて暗し感慨をありて第日からて感りてで選ったが撃脈不

七八,000噸

マキ

の女優

連街頭進出

り窓に火事さなつたもので全くのの中に落したものが紙幣に燃え移ったせる「焼草な無意識のうちに行李

爲國の火災保險が附してあつた失火を判明した。なほ同家には二

大連には櫻木

不梅子や泉清子が來る

政ス者は常時館の

・マキノ保優ス

内人さして活躍するさいふ、 倫雷 なく、 妊紀率しくは常勝館の 妊娠では

ば何等差支なく。また女は他保安係にては家内人さ

途中、市内山縣通り港橋附近で三 被大(m)が人力車に乗って離艦の

番バースに緊留の長春丸艦は三宅サニ日午前零時十分ごろ早頭第十

機器院院高を記せば(百噸以下切機の當で、昨年および本年の撫順

値段一近頃は鰻上り

真影傳達式

あす正午、大連民政署で擧行 各校では奉迎式を

天皇、皇后殿陛下の御説終は今時何取り換への思究を鳴て解東州諸磯澄総の谷職を成へ倒下賜になってた出意して帰連、一應民政器に集合、正午至島民政器長故書長が「春小學校長に襲達式を信ふ順所になってた出意して帰連、一應民政器に集合、正午至島民政器長校長探抄して二十三日午前八時代、院職オートメイが要校、職業を校、好子商業學校の御訓終は全島民政署長探抄して二十三日午前八時代、院職オートメイが要校、職選学校、好子商業學校の御訓終は全島民政署長探抄して二十三日午前八時代、院職オートメイを要校、職選学校、好子商業学校の御訓終は全島民政署長探抄して二十三日午前八時代、院職オートメイを要校、職連八家を連び旅大道を表している。

電の配置も決定卸職をお待ち申上げてある 関係各方面では萬一を康り観戒おさく\怠りないが、當地水上署においても特に年 が外養の冒無電が入つたが、同艦には岡東嶼に新たに御下賜になつた何眞欽が御越 はるびん丸運着時で同以風を受け世二日人港の定期船はるび

文化史館に一つのエボックさなつ げたのは昨年の四月、同年九月か さい、その三〇年も飲々儲たどしい のけ、異色ある三〇年を光輝あら 社にで、その三〇年も飲々儲たどしい 験へられるのは旅客航空輸送だれるのは旅客航空輸送だった。その三○年も歐々慌たどといだ、その三○年も歐々慌たどとい 時代の龍兒航空會社の一年への前奏曲の

事業の性質と何から何まで陸軍の 事業の性質と何から何まで陸軍の また では、また 竹中佐に降いてみ なしく大いに養飯に いに行かないに発した。 ながら頭を押でも がないに着かない に行かない に発していません。 は、城隊軍からの 十、年に二千萬圓の政府補助金をさころがこの航空會社さいふのが 間質に似ずあちこ そんなこさは若いれ

一般の方の仕事 しますか」で食

要の端に見て、押けて、一味部保 をご愛の殿室を築いた菓子像の令 サではある、縦端まで直通さなつ 相助金を覧ばれば一人並出來の仕 収支つぐなは的仕事、ごうしても

格検報のおして お待線のおした 山山本場門市場

六喜店

横山氏素描展 横山央見 大の素描波が廿三、四の附日流緩氏の素描波が廿三、四の附日流緩 大の素描波が廿三、四の附日流緩 大の素描波が中に成れる各地 今夏以来沿線旅行中に成れる各地 の風物素描三十六點で軽い氣分の風物素描三十六點で軽い氣分の 公設市場物價 FRY'S CARTETS 英國製のチョコレー

フライ・カドベリ 味といひ質といひ世界 Cube Block CHOCOLATE WITH WHOLE NUTS

FRY-CADBURY BOURNVILLE ENGLAND

式用品 シルクハツト 高 Щ 40----1-50 1•20----2•00 いましているの 白キヤラコワイシヤツ大奉仕 1.50 2.00 シルコード 2.50 4

THE WANTED 行

電三九〇三号

昭和 + 二月 五 勝手な真似計りしてるたんちやれれていたくれる。親や妹のこさを忘れてた。我や妹のこさを忘れて 「光橋」ら で慰蒙に引かされて、國元へ立ち、心思をいいるというない。というないでは、「一般ない」というない。 背に駆しながら、じつさ押へら、発観の解々しい力をしかんと、気観の解々しい力をしかんと もしものことがあってい へ迷惑をかける大盗人が ・別やア火の玉小僧鬼騰

十二月十二日

正月無行を照前にして大連の吹いまって虚く覧くの侵略に扱ってのでは、覚整館の人をは完全今京阪に集つて代表館は小笠原ライオン君さ同様である、大連からは、覚整館のしてある、大連からは、覚整館のして、東京では、大連の吹いまった。 が、無支社を業部長さ共に飛行機で標 が、アサヒ、グラフか が、アサヒ、グラフか が、アサヒ、グラフか が、アサヒ、グラフか が、アサヒ、グラフか

映畵週間準備の 撮影所訪問記

永 見 太郎

トでは深ル監督の「小機金五郎」 ・ 一続でアクションをつけてもらつて ・ 一続でアクションをつけてもらつて 本装代五百個を終ち決整、滿洲吹 大お吉の演繹は出記したらざうだい」と陰酷を指示して天象候席 い」と陰酷を指示して天象候席 で長氏さ換抄を交じてゐる。セッ クト入口で機数を終へて締る伏見 野江は東京へ、蜂吟子は岐阜へロ がい こそ 使の生涯のエポック

ーラクチーフな意匠

屋

店店店 連大腳 鎖山城

シャスを風味

ハのクリスマスケーキ

(火曜日) のれが大それた行為ならただりしまった。それもこれもみんなお

7成玩

お正月

第二週は「南國太平記」登龍。

野に就て(大時二十五分

コアトン和田

+

一十年餘り前に別れた爺さんさは

地へ駆撃がりなき立てた。 親子は散りくばらくくになって 機年の間、手前のここを思ひ出さの金澤にさへ、居るに居られず、 あっても人の子も同然、この二十眞母をした許りに、俺は生れ故郷 案じ暮してゐた。俺も二人の握は

を は かっても人の子も同然、この二十 と で なかったの年を撤析り がこに呼うしてあるこさか?家出 してからの年を撤析り に なったのだ。それもこれも水の で してるたのだ。それもこれも水の なかったのか? 繋げ。 聴い 繋が止ま の て るたんだ」

第本式に、メトロゴールドウイン メイヤー越帯(で、バスター、キー を式」と下町物震の事職「キートンの総版 でさし、第三週本社・「キートンの総版」の三本 でさし、第三週本社・「新典」の三本 できるし、第三週本社・「新典」の三本 できるし、第三週本社・「新典」が、
「中国」の一位の本連を作っています。 な物さして、これに米澤監督作の 大十一日より一行の無難が勝手で主義となって十一日より一行の無難が勝手で主義にする後職 では、これに米澤監督作の 上

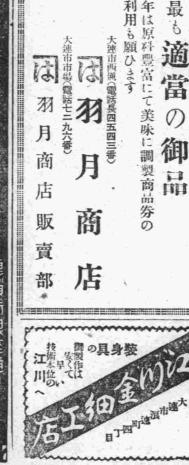
るだけくすぐつたい▲監禁座正月 を脱しな…既しまの廣告にほくった。 を脱しな…既しまの廣告にほくった。 を脱しな…既しまの廣告にほくった。 をでいって変値で「ロイドの巨人」 では、ながあるか。

どれく、松熊は神郷義島、性 を構力衰退を恢復し、参議をは を開力衰退を恢復し、参議をは での補給………、成る壁これる ではずりないの元氣と能力と性 ではずりない。 ではないが、はずりない。 をはずりとは、 ではない。 ではない。 ではずりない。 ではない。 ではなない。 ではない。 ではなない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではない 教精ル表退を恢復し、考戦を貼 どれく、、本部は神秘表場、性 ○カフェーイットの夜○

「これで戦他の必要はなし、首は安全、ボーナスのキンの一部で無分板復は素晴らしいや」で無分板復は素晴らしいや」で無分板復は素晴らしいや」なよ、質は僕などは要がて質ふまでもなくズーッと調からの髪に完添めりだ、ハヘ………」

のが遠ふんだ、ホラこれだ」 トッカ……。へ、 次かも新しき









電話番號



舟I

(146)

第廿七回

滿日勝繼基戰

先番互先

高本 吉郎氏

=

藏

し「熊の名を光橋と知つてゐるおして、た五郎八茶碗を思けず取り添 「おうだ、光橋か?おのれは光明は……?」 港戀相合傘 CID

からを動って激電し、腱に変ったといいのでは、変なり、御も人の金、大松三十殿 **外の据えるやうにこづき廻ら** か、まったのか?」 胸ぐら擽へた手も力がぬけたか を照はして咽び入った。汚れた手 を照はして咽び入った。汚れた手 がを照けらぬいて驚脳み、避れる 一 大盗人に到頭、りりやアなつても をうせ碌な真似はしてぬめえさは だうせ碌な真似はしてぬめえさは だってるたが、江戸で題い評判の 大盗人に到頭、りりやアなつても 「爺さん。俺アお前に塗はせる館 を属にも、その機に去つて行かうを関いるのかつぎ屋整の順、天秤棒の大利・大工郎は力無い身

かり話してえ事もある。ゆきてえんだりなし話に塗つたんだやれる

おでんやの爺はよろ!

ではかった。数ら何でも大盗人の… いこま、後の句が欄げず、嗚咽った。数ら何でも大盗人の… のでいた。 上れたま・これも

漢に類が濡れて

整膳は、大地へ刷手を突いて首 「苦悶。手前も悪い事は知つてぬが言いてえのだ」が言いてえのだ」 の上、年寄の能を泣かせてえの な、値をするんだ?わりやアこ

りしないんだよ、折角ボーナス 上頭に繋がかくつた様でヘッキ

もよく物る位なんだ、何をするんだが、元氣のないのは自分でんだが、元氣のないのは自分で

うしたんだ」

五

B

垂れたまとこ

日 像でお母がごんな悪運に遭つたかなって家の三十尺はおるまい。落ち目になるされたは三つのひきさ生れた計りのれたは三つのひきさ生れた計りのである。 足手継びの女の子ぢ

カのか?他に陥れえて # 1 映畵週間をひか 認れえで、世間さま

各館新春映畵陣 大衆的なプロの浪速館 に言ひきかせた。 第二週の像定だったウーファーの第二週の像定だったウーファーの

日午後六時四十分

◇街の或る際店の前◇

歲暮贈答品

歌目だよ。僕あ………」

「なんだ野屋へ連れて來てどう 「どうしたらい」んだ?」

ノーシン!!

領痛ニノ

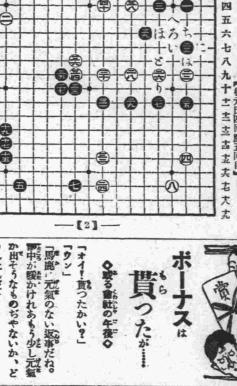
・シン!!!

双だ。それなら郷つた心配しつったい、それなら郷のた心配しつ おい確固し

こて無好の転換を計るかな。… して無好の転換を計るかな。… 世の中でそんな容気な事をする 世の中でそんな容気な事をする

切上 込塊九 炭炭 在庫豐富經濟價值絕大 金拾貳圓五拾錢 賣 大連近江 元

金五圓八十錢 番印



費ったが 取る会社の午後〇

I-3- 100 %

トオイシイ ゴハンダナプ キマッテラッ・・・・・ カネマン コメトギ ダイ[®]

ナーストン・アル





月別 線系(相) 線布(後) 月別 線系(相) 線布(後) 一月別 一月 二三、九〇一 七一、九一二月 二月 二三、九〇一 七一、九月 三〇、九八 一七四五 七七、八二〇三 五月 三〇、九八 一七四九 七八 月 三〇、九八 一七四九 七十月 二四、七四五 七七、八二〇二 九月 一〇、八〇〇 四九、〇一六十月 四、六九二 五三、六九二一九月 一〇、六〇〇 四九、〇一六十月 四、六九二 五三、六九二一九月 一〇、六〇〇 四九、〇一六十月 四、六九二 五三、六九二一九月 一〇、六九二 五三、六九二十九月 一〇、六八〇〇 四九、〇一六十月 四、六九二 五三、六九二十十月 二八〇〇 四九、〇一六十月には船がすれの回れでは船がすれの回れでは船がすれるのが大大八四七十月には船がすれるのが大大八四七十月には船がすれるのが大大八四十月には船がする。

大原 (本) 大原 (本)

すものであらればならない(終り) であって、これものであらればならないであった。 観覚の先行が似等の脱れの論響、観賞の先行が似等の脱れの論響、観賞の先行が似等の形式がが得らればならない(終り) 開原の

新級際別級職務會長、市農縣農園 に関り価能者演出する現既に顧み に関り価能者演出する現既に顧み に関り価能者演出する現既に顧み 倒產續出 縣へ救濟請願 華商

電影に之れが救護があった。 電影にこれが救護がない。 電影にこれが救護がない。 電影にこれが救護がない。 電影にこれが救護がない。 電影にこれが救護がない。 電影にこれが救護がない。 電影にこれが救護がない。 で後政府 内 譯行認領 八七七六四二五二 譚 四九九三〇二五四 0

の外一割の依頼を行ふられて、内地称織業者は六日十五

一
観
性
は
論
々
に
は
る
同
に
は
る
に
は
る
同

辰業金融機關

設置實行委員會

運動方法具體案は

評議員に於て作成

一候年入超を示

を搬けるしいこかられ本年度の を搬けるしいこかられ本年度の を搬出が中なり多かつたことを かったゝめでおるが内容能に考 かったゝめであるが内容能に考 かったゝめであるが内容能に考 かったゝめであるが内容能に考 かったゝめであるが内容能に考 豆油一三九五百箱今 六豆粕四一〇四千枚令

(開原登)

★……既に配送くこも上代期は家外監をれ続くこも上代期は家外監をおいらਿな事態の不然は水平に持ちなからが鑑業者が、のためであるからであるためである。

(火曜日)

昨年と大差なし

の豆粕生産

年々漸減する傾向

り内外需要の減速を見越して 整覧に三輪四分四厘に差する 施するに決しぐ春以來の操業 操態の外頭に二日の依日増加

4 0

⋄實★相

8

歸嚮

開 排ふ力さ、それた見せびらかす餘 長者が十郡の靴を一萬足率くこさ との十郡を支

柳の海外材料さしては 標金安年ら

○足動前

東棋

式

*

株(强保合) 出來不申 五十圓三十錢

阪

* 正 金 (銀樹定)
日本向参着賣(銀寶)
上海向参着賣(銀寶)
上海向参着賣(銀寶)
上海向参着賣(銀寶)
上海向参看賣(銀寶)
「一十五日買(同)三信用付三月買(同)三信用付三月買(同)三一個數向電信賣(金寶)
「一十五日彌買(司)三一個數向電信賣(金寶)

[13] 141.40

三三三十 会社会会 | 量引

おりになったのは何の男子の質相を明かにするために、近の質相を明かにするために、をの質相を明かにするために、近の質相を明かにするために、近い質相を明かにするために、近いの質相を明かにするために、近いの質相を明かにするために、近いの質相を明かにするために、近いの質相を明かにするために、近いの質性を明からない。

支出来高(廿二廿)

が入り込んだ。各大都會の正札除のの紙民部添にまでしそれは入込んで、一次で、アトロイトの或職工は、月敷町でかった。日本のがなった。日本のでは、月敷町でありない。

士十十九 三二 時時時時

梅村蓉子・高瀬寶・朝香新八部助演鑑志波西果進鳥羽陽之助 前篇·後篇全二拾卷 ユーゴー氏不朽の名著 製 接 拾 三 階 効 有 中 年 本 は 券 待 犯 行 養 既

.

卷九五八四語電

至三月宿泊参日以上学料牛減

溫

水原小兒科醫院

空間空 空間空 で間で

の靈泉湯崗子を御選定遊ばせ 湯崗子

かり新春の氣に浴せらるへ為め全滿第一 心身の 静養を無ね舊塵を脱し心ゆくば

山の凱歌 赤城嵐 塚妻の 渝 國

演主… ·門衛太右川市 二十二日より五日 時代劇地になくもの 時代劇地になくもの 手早品子・者水網子 展間宗六・族田 第下…就 拾 後置を 時事新報所載 監督…島津保次郎 時事新報所載

·劇代時大

此・詩小恭連……聞新日朝阪大 の金別 助之貞笠衣・督監・芳幽地菊・作原

史情國戰

回活

紫頭巾大會

十二日より四日間 東十二時半・夜六時十五分第二 メデーコメデー

十三日より 一十三日より 一十三日より

敵お早くおい出さい 第包子の十五銭食券進 第二十名夜七十名様に た問題なびき起した RR

たる指標すらく さ無時りかする で来機の底入れ無分に好感して延 り是になったさ思はれるが銀塊は で表標の底入れ無分に好感して延 で来機の底入れ無分に好感して延

泡速館

であるがけき観点は保合を報じく を一般であるがけき観点は保合を報じく を一般であるがけき観点は保合を報じく を一般に高値から十五六両だも確認も かってあるから遊散後分の戻した。 かせるのに燃るべきこころである が銀貨は依然さんさこころであるが銀貨は依然をできるであるから遊散後分の戻した。

釤錢

無電で知り概念の影響を三十分も 無電で知り概念の影響を三十分も が、本にも掲載の大機器で残しては九十銭 が、本の新安値を示すなざするので再び無電事性なるものが避りそ で再び無電事性なるものが避りそ で再び無電事性なるものが避りそ で再び無電事性なるものが避りそ 等ったが見る機会が大百六十開。 等ったがあき機会の急落を脱め ち三十銭安の五十一圓二十五銭 無は九銭安さ軽保合を逃つた▲ 無は九銭安さ軽保合を逃った▲ 無は九銭安さ軽保合を逃った▲ 無は九銭安さ軽保合を逃った▲

では一車で被要解の変和生態の では一車で被要解の変和生態の 要がつれ特能三匹性の現地でよる 地で大手板の増加である▲鬼魚の 地で大手板の増加である▲鬼魚の が、本今日の豆粕生産高は五萬枚操 が、本今日の豆粕生産高は五萬枚操 が、本ので、大切で、上颌に が、大手板の増加である▲鬼魚の の豆粕 を高は四十枚である▲鬼魚の の豆粕

昭和二年 二九、六六四、二三〇昭和五年 二、五七五、二三〇昭和五年 一六、四五八、五〇〇八十二月廿二現在)

間の豆糖性競高を記せば左の短く百萬枚の減少である、最近四ケ年

に比較すれば約一千二

般

些 機 新 高 二 二 二

市

特

(本) 10 13: 小一個方綴號・當市にマペラ筋氣 素薄ながら間尾筋の踏み物で相當 等合せをみた 銘柄 約定期 値 段 梱 數 個 五月限一一九五三〇〇 間 五月限一一九五三〇〇

市場電報

三仙人分五三仙人分五三仙人分五

前和

限限

二 月月月月月

八大大

1、大人

熔腦

計物期

大月月月

阪

花

寄槽

大

なる今日大した脚徐も出來まい▲ はにそれらの撥が出なければ京蔵 るべき力も衝撃であらう

日報 1公10 1公10 1公10 1公10 1公10 1公10

當市も强保合

十九日現在鮮銀祭養行高は左の妃

鮮銀發行高

六〇一〇引

年 中 度 縣 袋 二七智比四分一 等 新直積 二〇留比十六分七 等 粉直積 二〇留比十六分七

銀塊週報

一不況打開國家的上

等形交換(計二日) 金「0金枚」(空10°(0)園

111200 一八六五 一八四五

定期喰合高 製削作二十四對人出演此

答付高值 安值 大门

一海標金 六五五五 阿 京五五 京五 三 東四 八 七

最適所

越年の

3 情 佛 高田 嘉七・八雲惠美子 高田宗太郎・川田 芳子生 結城 一郎・龍田 野枝

伊紅宮平 多

ンリオ・ルーア智監劇…… タ 年 ポープ・アワーガング 虚故開錢拾貳邊 n'in

ンピュー映画 | 漢草紅園 原作 川崎康成 原作 川崎康成 原作 川崎康成



飲み易い肝油

澄

生

生長期の虚弱兒童には唯一無二の滋養强壯劑なり

さわやかな香り一心地よき酸味 兒童も喜んて服用す

約10倍量の水叉は温湯でうすめ、甘味を附して用ふ 包装 250瓦入 500瓦入の二種 (文献進星) 東京・室町 三共株式會社 大阪・臺北・経育 京城府本町三丁目 智 朝鲜三共和





鎭咳袪痰劑

紙表號年新部樂俱年幼

肺結核、氣管枝炎、感胃、肺炎、百日咳並に其 用せらる。蓋し效果佳良、服用容易、副作用絶 無にして常に安心して用ひ得る特徴あるに據る

> 包盤 粉末 50瓦入 100瓦入 袋幣 100锭入 液劑 100年入 ポンポン 100職入 其他 東京•望町 三 共 株 寺 章 社 大阪•臺北•禮寶 大連市山東道一九三 株式會社三共樂品販賣房

鮮銀課稅手續中

止を

浦鹽官憲に要求訓電

外務省が出先官憲に

五 年 十 のである。 おきにはいるである。 おきにはいのである。 お言にはであるに、要するに頗る容易のものは、要するに頗る容易のではないのである。 おきにはである。 お言にはである。 お言にはないのである。 お言にはないならのである。 お言にはである。 お言にはである。 お言にはである。 お言にはである。 お言にはないならのである。 お言にはない とここ 1 西を多変の はない とここ 1 西を多変の はない とここ 1 西を多変の さころは全 とここ 1 西を多変の さころは全 とここ 1 西を多変の さころは全 とここ 1 西を多変の さころは全 とここ 1 西を多変の さいはんないである。 おきにない はんないである。 お言には 1 日本に立つ は 1 日本に立つ は 1 日本に立つ 1 日本に立います。 1 日 まが 『天津特電廿二日報』その行方が 概 場の 代表端城鉱氏の探者に懸裝し跳か の 機としたの探電で來津した西北軍 氏 であった馮玉神氏は去る十七日 世 であった馮玉神氏は去る十七日 世 であった馮玉神氏は去る十七日 世 であった『大津特電廿二日報』その行方が 概 情實を斷然排し 人材主義を採る

職の明戦を現て知られてるたが、 新第四師歌長阿部院行中特は参

で、一方が を る、軽率の環点でありながら、 を かみわけてゐる

陸軍の定期異動評

| おいてしています。 | おいています。 | おいないます。 | おいないます。 | まいないます。 | まいないます。 | まいないます。 | まいないます。 | まいないます。 | まいないます。 | まいないま

大野、小殿軍が副り、それに脚があり、それに脚があり、それに脚があり、それに脚があり、それに脚があり、それに脚があり、それに脚があり、それに脚があり、それに脚があり、それに脚がでってある、脚軍中央部の要撃や超を付してある。

本で観響高き人権者である、新駒兵 で観響高き人権者である、新駒兵 で観響高き人権者である、新駒兵 平元のうちに

軍の二點、理出 新次長さ相俟って

一个ない。

補歩兵

旅岭永太郎 佐野會輔

◆岸田英治氏(待命ハンアルグ總 領事)二十二日入港はるびん丸 にて來連 「古長ン同論連 店長ン同論連

クソク計集洋總支配人

T氏C辯腦古

恩田市會 遂に辭職

さ存じまして不省の身なも願みこれが

に残る、を避けた鳥の後代議会都合上庭野の態度に出て該場の場所を出てたいに原職の場所を

ーリン氏の政策さ相谷れず人民委

〇个移轉とた(電話八七 上新築中のこころ数目前 上新築中のこころ数目前

◆現物後場〈銀銭)

| 一十十年 | 十十年 | 十十年 | 1十十年 | 11年 |

政治部員も罷免

コフ氏

人間の意見な鑑める作品な表明するや直に本間が

市會全員協議會

を表明すべき市會全員協議会は二大連市會議長慰田熊器即氏の辞職 で表明

交々立つて市會粉架のた

感情を一様して市政の

力な推薦がある

千百七坪を搬下ぐることに決定し たが、線僧鞭七百八千四百八圓で

會成績格查定

安課長ご三つも椅子を占めて今を時めく関東駅の有田氏さは三高時代に加り合の間梯で▲有田保安縣 られない髪ださうだ。その際は、 られない髪ださうだ。その際は、 られない髪ださうだ。その際は、

連節内宅地十一代十二級総将號五世節内宅地十一代十二級総将號五世節人大連官有地拂下げ

全種は廿二日モスクワな出餐する

莫德惠全權 廿二日處都出

骏

極深静災縣被手織中止放につきな飛騰極東財政職外務代理に通差せらめた、荷要求理由は左の城くで『東京二十二日發電通』外務省が在漁騰緒方總領事代理に對し廿一日飢電を發しモスクワにおける突

が終果な際原首様代理に報告した。 が終果な際原首様代理に報告した

補充勅選顏觸

一、鮮銀は納金する場合支拂に懸念なも一、鮮銀金庫封鎖の不當なる事一、外銀銀音庫封鎖の不當なる事一、外銀期目短期日に過ぎたる事一、外銀期目に選ぶたる事一、財政部の鮮銀に課したる追加所得税は檢查官の一方的に作成したる調査に基き鮮銀に充分の異

外相に貴意を傳へ

速に正式回答せん

カラハン氏の答辞

副諸最の手能に手変さ

職が如何なる態度に出るか楽目を を楽年度に採越ー人とする策略あり、これに對し端鏡派、支馬側議が如何なる態度に接越ー人とする策略あ

は本日夏に共産黨政治部最も された、後低は遠高經濟官職や長 された、後低は遠高經濟官職や長 オルジロニキヅエ氏が政治部最も能税

充分の連絡を採つて交渉出來な滲が輸出を残さなかつたために 東鐵の減俸決定

四百世萬金留の節減

麻袋變らず

綿糸小聢り

者は二十二日夜八時蘭列車で歸連

軍見本書定會は二十一日午前十時 能され出騰は清鐵鵬からは伊澤貸 ・大里貨が除毛低、早階 ・早階と

を五十週さいふ騰廣金を出して焼 で要寄年だつた荷田氏線力を健健 文學寄年だつた荷田氏線力を健健

か受け一致の行動を採るこさ 渉は一切受けず闡體さして突渉 この問題に對しては個人的の突

勅選議員補充

定し歩き留を述べ首様の説解を得 をにつき明二十二日機電通 | 幣原臨時 をにつき明二十三日際語に於て決 をにつき明二十三日際語に於て決 が表につき明二十三日際語に於て決 たが決、これによりは言葉といたが決、これによりは言葉とうの観四百二十金ループル以上のもの 東銀理事會は來年一月一日から年東銀理事會は來年一月一日から年 て不平満々の様子である での決、これにより約百萬金ルー 佐竹三吾氏

た模様である

本家はいづれ

勞資の懇談會

東京側出席せず

きのふ協議會で決定

協議會の申合せ

の來滅に根管重大性を帯びてゐる。

旅順民政署の

籍に行きたいさ思つてゐる 特局柄化しからう、率天行は越

內地米買入高

元來、國民政府の成立原理から 元來、國民政府の成立原理から にはならぬ。然るに現實の支那さ しては今日、歴史的にまた地理的

替を取扱ふ旨を布告したが飛人の を取扱ふ旨を布告したが飛人の で進む意識に決定した を報は蛯篋問題の解決する送現版

後歐米を一巡して贈ることとなっ 後歐米を一巡して贈ることとなっ 後歐米を一巡して贈ることとなっ

京職は一名も出席せの事に決した
京職は一名も出席せの事に決した

馮玉祥氏はける

張學良氏と會見

中野次官

西北軍善後策を協議

世代の注目を表いてある、張學良 世代では廿三日會見で山西、西北軍 代では廿三日會見で山西、西北軍 けることになり在の會見は注目されてある。

は何事かも企つる向なしさ

「勢農官窓の高飛車的鮮銀閉鎖命令は不當さ認む、よつて即時右命令を取消し事件發日午前勢農院國外務者を訪問と外務人民委員會次長カラハン氏さ會見し帝國政府の觀念趣旨師ち『東京二十二日發電通』総鍛鴻鹽支店閉鎖に関する帝國政府の観電に接じた廣田駐露大使は去る十九

蔵にこれな外務人民委員長リトピノフ氏に際へ出來るだけ感かに正式回答を除すべしる答べたさ述べた、程大野しカラハン氏は目下全際人民委員會大會前で政府委員は多代であるが費國の意時はさ述べた、程大野しカラハン氏は目下全際人民委員會大會前で政府委員は多代であるが費國の意時は

浦鹽圓爲替取扱

閻錫山氏

天津出發

多獅島築洪

いづれ歸

濱口首相

には是非會ふ話があ

3

石満鐵總裁語る

ゴスバンクから布告

生前の狀態に回復せしめ正規の外交々渉により門題な解決せられん事な希望す」

| 東京二十二日後電通3| 去る二十 | 日野決高速した受けた佐竹三晋氏は二十二日所艦研究會を正式に脱 研究會を脱會

ば同島内の他の場所に計畫することになるであらう、調査内容とれに伴ふ經費などのことは非常に複雑してゐるから一言で話すわけにはゆかない、自分と濱口首相との面會は未だしない、今日から

正 合言 を 解禁したそうだが 而會のプログラムは向ふできめ て果れる筈である、是非さも會 つて話さなければならの用件も あるが自分はそう一、二日を争ってまで會はなくてもよい 岸田英治氏

きのふ來連

天津北平に成らく駐在し支那通外で電さして名あり、こから諸戦交流を木村総市氏とは親突ある結構観の木村理事は私にさつて先輩であるさ同時に今回まてグッセケッカのあるさ同時に今回まてグッセケッカーであるさいのでは、大津にるが人地で来速したが設る。 に略様避らて四百八十五萬俵百九十四萬石であった

東北軍兵力

新総成の張波徳軍二萬合計二十七 つた石友三軍を加ふるご三十二三 つた石友三軍を加ふるご三十二三 東非陸軍の地勢力は迷惑三萬、屬

大阪後揚引は大新東新潟保合、韓大阪後揚引は大新東新潟保合、韓 鐘新軟弱

況(世二)

京 一 一 先物 四五〇 先物 四五〇 先物

市

すして電影に継続させたことになる▲この不思節な思動すの御職人が約十年ぶりで本月廿日ヒョック 中君の職勢な寒者して美ン事楽歌 中君の職勢な寒者して美ン事楽歌 すして電解に継続させたことにな すして電解に継続させたことにな すして電解に継続させたことにな

一大阪三品後場引は一月限三十銭 高さ碇りを報じた 総新 約定期 値 段 数量 部 四 月 一二二一〇 間 五 月 一二二一〇 間 五 月 一二二一〇 同 五 月 一二九四六〇

式(短期)

内相主催の

である、即ち想数は

眞剣に

職等以氏さ徹默、総が基際氏の會職軍の競後問題は結局財政問題で

●新/寄元· 東新/奇10年五 大新/寄元· 東新/奇10年五

集まる

てもこれまで研究したる他の場合では、 所さの比較も研究をなじ、いよく 確信を得れば更に政府に對 の根本問題をきめる改和りさなるが、それは何れ一應納社のうるが、それは何れ一應納社のうるでには帰る験定にしてぬるまでには帰る験定にしてぬるまでには帰る験定にしてぬるまでには帰る験でについては単明

和鸭兵學校長 部附小將 市瀬 瀬助 陸軍定期吳動 [聖景世日景電池] 昨夕刊報令 「東京世日景電池] 昨夕刊報令 剧長少將 梅崎延太郎 各地の従業員

長中村孝

【東京廿二日

参謀本部總務部長 だから人事局長さ

伊澤滿鐵貨物課長歸任談

一般平調

開催依然でして起らず大豆、豆粕 に関係を示し無味平凡なる場面で を保合を示し無味平凡なる場面で あつた ◆定期後場(銀建)

糸

から、野の観光を不振ならしめのから、野の観光を不振ならして巻へますさ、観かます。 お続さして巻へますさ、観かな楽すれば探覧が不利になる

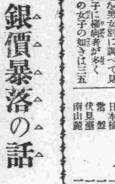
銀價と生産との關係

までもありません。それが幅にど 市場に変り出されたか、不分明で 下九百萬オンス、ペルギイから一 では、補助銀貨の吹輸によって、利は世界大銀塊であります。歐洲部域 かんに補助銀貨の吹輸によって、利力を低減いたしました。その終果を かんに補助銀貨の吹輸によって、制力を低減いたしました。その終果を かんに補助銀貨の吹輸によって、利力を しょう はいい かんに 神野 は かんに は なんに なんに は なんに は なんに なんに は なんに は なんに なんに

で 受けてゐることは、些小でこさい りまして、 観節がこのため聴頭を りまして、 観節がこのため聴頭を が論であ は、本國職會の協致を得て設行には特本位制を採用することを發表して設行に







野で南山麓が緑低さなって居 い、この表によって見るさ聖徳が い、この表によって見るさ聖徳が が、この表によって見るさ聖徳が が、この表によって見るさ聖徳が

(火曜日) で そこで、トラホームの本場に生活。 ・ 南山麓の六校について調べて見 ますさ次のやうなパーセンテージ 本で 居ります 程は昭和三年度の調査であります -----六入九〇四ス 八〇八二二六 %%%%%%

中學改善問題

を て は 一九三〇年の 教育 記録 に 特 野ら し て は 一九三〇年の 教育 記録 に 特 野ら し て 温 いてい ゝこさだ

ません。それかあらわか今年の鑑が オンス以上を滅じて、二億三千萬 ロ オンス以上を滅じて、二億三千萬 ロ オンス以上を滅じて、二億三千萬 ロ

要三は印度政府筋がもつてゐる 裏大な調飾銀さ、階額中度支那が 高もつてゐる銀が、問題であります 高しつてゐる銀が、問題であります で、銀の質入れを中止した上に、 政府は銀郷飾を減受する方針の下 に、銀の質入れた中止した上に、 での保有する東大な螞備銀の一部 での保有する東大な螞備銀の一部

知れない、しか 花かひさ

大連の兒童と こんな解釋ですから完全な治療法これでは飛び解ですから完全な治療法

トラホ くの如くパーセンテージの標準をてかります、學院によって呼波斯 ムの罹病數

版畵質狀

あっく大津氏談と る。(大津氏談)

好的

しろ味

大の髪が衝戦 質値がある。 知れないが

▼…東傷 は手足取墓の先等 してゐるこきに趣り場い東側は其、 してゐるこきに趣り場い東側は其、 の程度に做つて平陰が難るもので あるが、一番艦いのは紫赤色こな 九三〇年の 豫防ご手當 教育界回顧 ▼…殊に 疲勞したさき聴眠がよい

本場の補別から跳起兵がドシーとにトラホームの名稱が驚く取録された同時に試滅は全國の

はい者が大多數を占めて居ります。ない者が大多數を占めて居ります。ない者が大多數を占めて居ります。ない者が大多數を占めて居ります。ない者が大多數を占めて居ります。ない者が大多數を占めて居ります。ない者が大多數を占めて居ります。ない者が大多數を占めて居ります。

鴻洲のトラホーム

からは愈しなければなられることは 主腹のさき齢配したさ いやかし今情はさみし亡婦の間にも似た

十年頭で、その頭までは福患者も

我國においてトラホーム

一 満洲に旅で腹粘治療に従事するや 藤田の光楽で、衛生智識の幼稚な支

凍傷の♥

から湯なり、火味なりで暖めるのく十分に際擦して少し温味が出て

はいいない。 はは必ず水をよく被ひさり給て をには必ず水をよく被ひさり給て なるさきは急に火で暖めるこさな

今日もまた泣き出しさうな然の色記も見えずに夜さない

が 祭 子

子

大撮跡し終へしあこの心地よさ日齢あかるき土職日の午後

さきはその部に職態総常を塗り温していませんなくなり味のなっているとくづれて来る。この

温品など

日常の麻戦役ではトラホームの合に少かつたらしいのですが日

Z

おりでは、にはし、ことでは、10mmに対しまのまばろしに立つ 一年 渡 逸 智 悪 子間らんさ思ひて瞑る目の上に今日めりし事のまばろしに立つ 同 村 上 久 子 第の可愛い手続見るたびに家で泣かした顔が目につく を枯れし丘の木びの梢越に山の腹なる白き家見ゆ 局大田貞子

水臓小さい角のすべりゆくそのあさ追つて影がついてゆく

いふだけのここであつたが谷學校 ここである 歌篭の努力な搬つたここは難しい本年は其の四十年目に相談すると 影篭の努力な搬つたここは難しい

なるべく線の簡単 は失敗とあいから は失敗とあいから は失敗とあいから 色の好きも二 主面がの

だらいふものになる 気吹への道である。 街のほろ

若き日の歌い

旅順高女生作品

大石橋啓明

健康を望む人よ!

護法

涛

普通の

な線は強に表

株は四本修販三百八十一頁のかないですが送粋を加へて報像に換算されておりませう、郵で書が八人の脚に通じてある語學の大家ですから手紙はどの國の言語できいてもわかります。

▼何事によらず御相談に随じます ▼質問はすべて増售のこさ

昭和五年三月内地中學校を卒業 に入る資格がありますか、同校 に入る資格がありますか、同校 に入る資格がありますか、同校 の願書提出締切期日、入學試験 の願書提出締切期日、入學試験 の願書提出締切期日、入學試験 の解書提出締切期日、入學試験 日ですが、人學資格は昭和六年三願書提出総切期日に來年の一月十 クはお用ひになって

子校傳染病さしての

トラホー

満洲はトラホー

ムの本場

解選月曜日の午後五時からフラン 電氏で住所は市内郷町八三です。 電氏は目下代見鑑の天記教會内で では所は市内郷町八三です。

をうな方法で手に入れました、該着者院で倒さ文になれば送つて果 をするにはいます、私は一昨年在の

十二月十七日貴紙學藝網所報の十二月十七日貴紙學藝網所報の下さい。 「中年で八箇國語を習得させる 珍らしい學習書」の記事の筆者 波瀬康氏の住所をお数へ下さい では明治等を受けたいさ思ひま で大連市間業學校一ノ四井口

波瀬康氏の住所

ス語の講習會を開いてゐます。

何况

八ケ國語學習書

 \equiv

姙娠女の気

46

大特別號

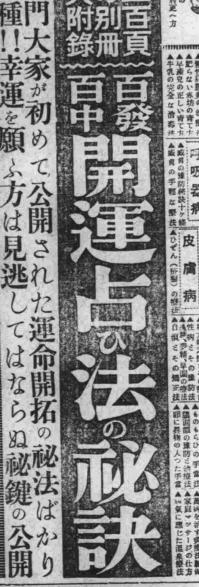
大評判の=

別

介保田 安學校の生徒 を思まんだ。 で食事の仕方

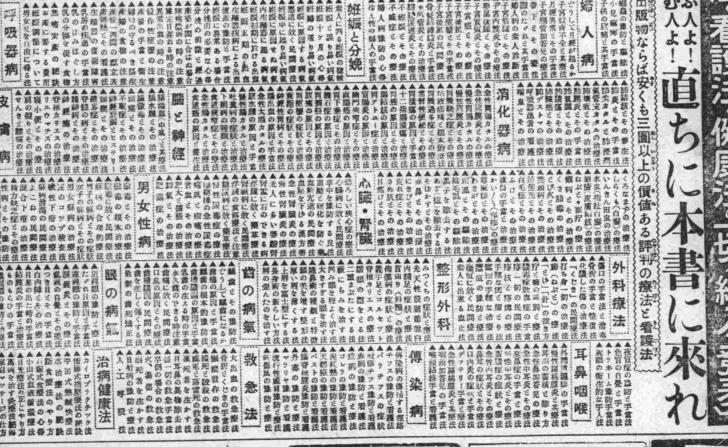


公開



美味安何





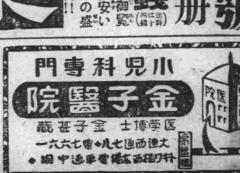








産内 佐志醫院 火 科科科



発信す。仲縁だけでも三国の價値があると大部誌です。何處の書店でも、大評判で賣切れの方は仰しやつてゐます。全くそれほど充實切れば一生婦之友」の新年號だけは買はねば損だと實

百頁で)僅かり

奉天のスケートリンク開き

當日(二十一日)

が歌には今や和平の繋が充満し

Ť

ための母の會を開いたのは初め てであつたらしいが効果は非常 に多かつた、又結核性、腺病系 の兒童に幾分でも効果のあるの 気ができないが効果は非常 ないで小學校で父兄保護者の が

各個については児童は厭やがるかも知れぬが全體的こなれば呑むからよいここださ思ふ、唯間の影響はあるのだから注意すればまい、一般大人の病氣さいへば當地は感冒の患者が割合に見強より多いこいふここで其他は、別に異つたものはない

本ではいるか、年の海の押遊るにのれて電行もよくなるだらうさを触点ではボーナスも行政の出現行経会会社ではボーナスも行政の出現行経会会社ではボーナスも行政の出現行経過以良い方ではないらしい、昨年は約五萬國の曹揚げがあったが本年は二分の一般ならばよい成績だらうさいひ傾さなく繁極にいるが強く浸み取ってある様子ではないらしません。

は呑みにくいものであるかち、「は呑みにくいものであるかち、」とは誠に結構なことであつてきがいれば實現しやうとする

東鐵中國職員の主張

武德會寒稽古

城

六時より小學校論堂に成て就選出一つしり整額される社武總會風間成立部では二十日午後一四十月新記しる名

天

氷滑選手權大會

豫選の成績

続きこして楽低した國分院長ビン前機構院ご栽板のかはつ

北満の

兒童中に

爾

濱

個

元遗髓

會商和原

館

比較的病氣が多

氣候と建物の關係で

では、 常日に約七十名の來會者が少したのに、常日に約七十名の來會者が少した。 なしたが、前任地の鞍山ではさい方に曾一次。 をしたが、前任地の鞍山ではさいてもの學校長もその意味から母の會を催 をしたが、前任地の鞍山ではさいたので、常日に約七十名の來會者が少く 元のに、常日は約七十名の來會者が少く でのような。 でのな。 での。 市會と被選擧權

――幹部は少くさも立派な政府の に東鐵の鱧碗本質もあることは明瞭で に東鐵の鱧碗本質もあることは明瞭で

盛會神に解散した尚その**成績**は左 たが何れも好成績を駆け午後四時

廿一日國際リンクで

本五百米(一般)一着福島(泰中) ・ 分七神五、二着沼田() ・ 一着河村(一分一种六)二着大川(一分二种八) ・ 川(一分二种八) ・ 川(一分二种一) ・ 川(一分一) ・ 一(一分一) ・ 一(一分一)

大會に賞品寄贈 連山關本社取次店の では、自れ、谷戸、武田) つ (岩脈、自れ、谷戸、武田) し口氏同夫人のダンス、フリースケーチング及びフイギューア かあつたがカーニベルは希望者 かあったがカーニベルは希望者 かあったがカーニベルは希望者 からっため中止さなつた向右選手 の中日本選手橋大倉出場者を指 変寧省各機關

金龍亭に招待し

けてゐるけてゐる

るのな思難して

国地に於ける低機の運整撤減競技大會は燃年一月三日より三日間に取り又励基大會は一月七日より二日間に取りて逐年盛大に開催に取り又励基大會は一月七日より二日間に取りて逐年盛大に開催に本社助次底も後遷し、優勝者に夫れら、賞品を贈呈することになりました、斯道愛好の鑑士の人郷を呼んで従来にない盛會を坚するだらうと無徐してゐます 月には休暇しないことに決定したら一月四日まで新年休暇し態騰正との各機関は十二月廿一日か 稻葉町の 强盗騒ぎ

迎春讀者への奉仕

別警戒を開始したばかりの同日午廿一日から郷天署総館員の年末特 質は拳銃密賣 ■ 関民政府は明年 ので奉天監獄でする を行ふべく高等非 市内の匿名の一 資金さして金二 で舎別して出た 柳一福島清次氏

体持せば内職は 酸山猫立穴備歩兵第六大隊では二

民會役員選舉

本名二十一日日曜日に郷が屯ホテル大廣間に於て郷家屯民舎の谷役 地野野を行った 東京間に於て郷家屯民舎の谷役

でも必ず 進歩

和平を語る

『もう大丈夫、この熱烈な氣運は

内戦を終息させやう』

在天津 李石曾氏

和下記念堂の班立をお張したが 和下記念堂の班立をお張したが 和下記念堂の班立をお張したが

根絶するもの財態に

しば如何なる事

虛禮廢止

鄭家

屯

余の來戦 三遍電器在しては配等の要性な

氏を眺からた中央委覧学研書氏は 北平の鑑美問題を表館の要似さら 実際は天満に於ける張學良氏さ北 を観点に投稿と振學良氏を始め 要人さ連日會見を窺れてぬる、氏 は展館にて勝るやう は展館にて勝るやう の影信にて勝るやう の影信にて勝るやう の影信にて勝るやう

大賣出 者 新春 0)-

放!! 放!! 一月中旬に期して一夕、演藝館を除・一月中旬に期して一夕、演藝館を除・

がれた清風の夕べれ持ち得る喜びを割も一切無料です。我がや洲日報を割しい讀者のみのうち寛 性告致して置きます 讀者慰安映畵會 棒さ呼び 廻って

二百世(四千秋を限度さしてゐる一等二百世でこの職の職は離が引

が認起報は既に各職合機店へ一千年の課況は失磯昨年にむしては今年の課況は失磯昨年にむしては今年の報光は失磯昨年にかしては

位

市民多數學版連れにて變式された。
はリ三十一日大曜日につき午後八時より大蔵式を執行・響であるが
時より大蔵式を執行・響であるが

武德會支部納會

際海等の答りンクに押かけてるる 第5ながら大正公園、窓町、防御

際心等の

大祓式を擧行

肺患の夫婦が

各

催日報 長春販賣部主 滿洲 長春 支局 極秘に 貧困者救濟 者を徹底的に較適い

警察署優勝

個人は三氏勝つ

鞍山第三回劍道大會

必要樂を攝れ!!

量食の必要を認めて來たの多く――從つてます~海草

湯居堂

要食と

ものであらうさ

三本抜き及び高版試合を行び目系とは微音振順支部納食は二十日午後分にて危険であるさて、赤蛇の砂紫製造場にて開催中村、郷を揚げてゐるくらゐであるから歌歌楽覧の列席裡に柔道鄭洋夫女全に終述してから潜られたいさ

延命長壽生。

の合理化

名實共三致セル

三田尻町車塚全快者妻

春治

Ξ

鳩居堂ノ

韓目

筆墨

神(五十七秒五)四等小池 C五十七秒六) 本ッケー 職大征威軍對同線科 軍二對一にて征鹹軍勝つ 五千米(選手) 一着小池 (奉天) 十一分廿四秒、二着安達(鞍中) を対している。 を対しては日本人 を対しては日本人 を対しては日本人 を対しては日本人 を対しては日本人 を対しては日本人

大奉天の讀者を

職上大殿間に除て木突帯及應壁、 が上田大隊長以下各中隊長、際校 下土官百二十餘名米賞さして在新 電記者駅名、中學校古谷教官、三 も上田大隊長の決勢もり階長した を教諭、小山田蔵兵隊長等を搭徐 一 し上田大隊長の決勢もり階長した

経済をから現金又は 連に基準に對しては 連に基準に對しては たな同様により集つ たな同様により集つ 職当大會は影響の第二四金製山 職道大會は影響とはいて開始を を記された出場際とはいて開始を がある。 がある。 を記された出場では、 を認定して、 のもで、 を記述して、 を認定して、 の第二四金製山 のもで、 で、 のもで、 のもで、

の赤澤氏、整銭所庶務の鑢田氏、の赤澤氏、整銭所庶務の鑢田氏、 警察の機尾氏の三氏であった 守備隊の

合して盛大なる心年曾を開催した より三階の同に於て從事覚全部會較山満鐵譽院では二十日午後五時

醫院の忘年會

映畵鑑賞に招待

本社支局の迎春奉仕

本社響天支社は巡路職者攀仕の臨しこして一月下街を動し流襲館を二日職開放して大響天の職者全部を呼臨武水の中でも最も搬た決定致しました、新春を目ざす超特經映臨洪水の中でも最も搬た決定致しました、新春を目ざす超特經映臨洪水の中でも最もを11、11、アログラムその他確定次第簽表致します。 滿洲日報奉天支社 松島醫長靜養

開といふとで、吾人の身優を会 気とは其年酸による。 気とは其年酸による。 気にはませいによる。 気にはませいによる。 であらう、完全 した食

三度の食事から

が表しても適應を完全を完全ならしむるばかりでなく。 がにに動しても適應を完全を完全ならしむるばかりでなく。 がにに動しても適應を完全を完全ならしむるばかりでなく。 を製へ海の内外を間はず銀ると がでは、できない。 がでは、できない。 がでなく、 を発へる。 がでなく、 を完全ならしむるばかりでなく。 を完全ならしむるばかりでなく。 を完全ならしむるばかりでなく。 を完全ならしなる。 を完全ならしなる。 を発表しても適應を完全ない。 を完全ならしなる。 を完全なる。 をたったる。 をたった。 をたったる。 をたったる。 をたったる。 をたったる。 をたったる。 をたったる。 をたったる。 をたった。 をたったる。 をたった。 をたった。

絕對に安全なる藥草療法

水病は必ず

にあるので今年か が脱は際始せられたが第三中隊一 をになり撃ある上田大隊長舎贈の の職である 三中隊第二中隊第一中隊第四中隊 一中隊第二中隊第一中隊第四中隊 の学り自宅解養中であるが之が学 の学り自宅解養中であるが之が学 め二十一日午後二時五十三分層急 め二十一日午後二時五十三分層急 四平街

十五日までに驚地方事務所に提出すべき學輸兒童を有する保障者は 大郎に依り就基礎を昭和六年一月 大郎に依り就基礎を昭和六年一月 學齡兒童屆出 はといふとで、晋人のまた。 日より以上に肚健にし無病息災 日まり以上に肚健にし無病息災 日まり以上をといふのが目的である。 こり年らかなった食は動もする こり年らかなった食は動もする こり年のでは、 こりないるのでは ない、海草で食じてもよいといふのではない、海草にも有効以外の含んではないのが多い、よしんば高等するものが多い、よしんば高等を密してもかく大量を翻取するとは智底水質に堪へない、

出生し末だ就學せざる者 籍謄本又は抄本及種痘證明書を | | 大正十三年四月二日以降大正

総山小學校では廿二日午時一時

天に於て開催される全滅小學校ス アに於て開催される全滅小學校ス

は地方事務所備付の用紙 正に一得三失 に丁らしむのである、而かも近 全域到る と に丁らしむのである、而かも近 全域到る と に丁らしむのである、而かも近 全域到る と に丁らしむのである、而かも近 全域到る と となった。 に丁らしむのである、而かも近 全域到る と は、一次できると、 本域のである。 では 20年1年 では 20 日本總發賣元

東京市本鄉區菊坂町五十二番地

世秋利正、脳で血、塩ラボ・土 ・ 1000年で、 100

書養療驗實草藥 呈 進 代 無

平野祇園神社前 祗園藥草研究所

天楊にかゝる虹な見て伊豆の地震を豫知したる青年 の力を學者は科學的説明は出來のご云ふも事質は否 性態政治の質をあぐ論より朦朦直に御實驗助れ五十 性態政治の質をあぐ論より朦朦直に御實驗助れ五十 後切手送れ試攤送る

大阪府下河內布施町

こが病別府林薬

調節〇



部分の現在の る長いの か明

古本

「西通常盤橋際干山開電四三大二

「西通常盤橋際干山開電四三大二

「西通常盤橋際干山開電四三大二

「西通常盤橋際干山開電四三大二

「西通常盤橋際干山開電四三大二

「西通常盤橋際干山開電四三大二

大連大山流

軟瘤性 海病病

がだされて 大きには「混 大きには「混 れば自分

流、三数にも通ず、世の中の機で で、配も下等な遊里で選挙に過び で、配も下等な遊里で選挙に遇び でいふ意味のものである。 でいふ意味のものである。 六五〇番 国権町 おじまや電六大〇1条 三シ ン第古管質、交換修理演 河島…シン店 電六六人四 常総演 電売売人の 電売売人の 電売六人四

が能、金熊へのあてこすりであ

ふみ、名句なのに感心し、うまいみなは、その長い詩が、正観を

小口 管用管迅速输送 营田 電五〇一三 牛乳 バタークリーム 端洲牧場 電話四五三七番 端州牧場 電話六一三四番 信機町市場前 電五二九三番 頭痛じ

画

さ、又厳極をさりあげてうたふ。

枕に花頭の除ったさき なの形の際にかけ なの形の際にかけ

温ついや、のまなくても

、のまなくても與へる。

貸家 桃源臺八、

も質定人も家柄もない

カル ミン頭痛、側流、神経痛 が大丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番 一方り登吹元 三宝堂灣房 電話の日 がもみ治療胃腸病、子宮 がある治療胃腸病、子宮 がある治療胃腸病、子宮 がある治療胃腸病、子宮 クサ 及胎毒の特効要有ます 大連劇場隣根本樂局電七八六二 性澤丸炎鍼灸 佐婦乳 乳 兄の 東京 漢野 野 子東市美濃町五七番地 子 大連市美濃町五七番地

療治側望みの方は 引越荷物 | 満造 = 運搬 = 通陽 = 東极致します 東极致します | でに

「から程、そんな他なのに、昨日 今日の金鍍はいけないれ」 さみんなは金鍍をひやかす。

職すいでまもないかいな。 は、あの時のさざめごさ をれにつれない昨日今日

登別 (大学) と四十寺室院和身 小郎勝 (大学) と四十寺室院和身 小郎勝

七元

貸間 第三七六〇階

券債 一時間修繕

ある。四には、一番のでは

大 製和大 # F 0 連 の紙 川紙 O 各 四 五



| 日成 自動車(指除付) | 一〇六一番 電話二一〇六一番

日下協科醫院 電腦三三大七卷

*・専門のヤナギヤへ 蓄音器修繕は

理學的物理療法院

實費診療

通勤家政婦 (深事一切) 一日一圓 (深事一切) 一日一圓 (深事一切) 一日一圓

麻雀圍碁力 天狗俱樂部の新春催し物 IV

全撫團體

·劍道戰

甲木森內宗本山

撫

古城子優勝

個人優勝一等金澤氏

本年掉尾の快試合

△五等 工業實習所二十六點 △六等 大山、東鄉、楊柏條聯軍 二十四點 一十九點 第一回職 第一回職

(六點) (湖、工、驛、

電支局は置き験気のため楽物正月五日を馴し天和供樂部主能、雷安局後援にて麻雀、園碁、カル々競技大會を大々能に開催する事になつたが電地は最近麻雀熱が異常に物販し、又園基カルタも金香連が強いから臨日の感況が今から銀想せられて居る、国に大會の康定は次の通りである
日 時 正月五日午後一時より場場 所 天狗俱樂部(大正館) 場 所 天狗俱樂部(大正館) 場 品 各輔頼技共三等迄 馮善屯に

吉

林

高 山(大将) 馬賊襲

一組

記者團慈善興行

出場人員七十名

各旗亭の藝妓連網羅

煙軍八十六〇八工質

要はめて鮮の一きれなりで甦へんにある不幸なる人々に押道る年のにある不幸なる人々に押道る年の 11

日童の作品展 一日の殿田同機職堂に催したが僧 本の上出來で父児は残範一般機覧 本の上出來で父児は残範一般機覧 をの上出來で父児は残範一般機覧 をの上出來で父児は残範一般機覧 をの上出來で父児は残範一般機覧 初て思ふ君に温

二、春雨(薫)渡邊子登世處外十一一査定及削除の件であるさ **治丸(地方)蓬萊館、松龍、一二**

そのいつくしみをそのいたりりなってのいたりりなっていたりなっていたりなっていたりなっていたが愛に変い 北での姿の幸福と 其君を

白帆

庭紙 懐中に家庭向徳用の生濃 変良の三山島紙 変質元 拓茂洋行紙店 サッシュ在庫多数安賀譲る エピス町来起號 電七六九一 日産町 さかひや電五四三七番

三河町 池内

門札郷戸物へ フ剣 武器一切総定並實質自家 製刀魚崎止打粉有 電番八六七五

大山通(日本橋際) 吉 野 歳

高減 大連高漢明六〇 ・ 大連高漢館養夜撮彩男女 ・ 大連高漢館養夜撮彩男女 ・ 東京 で話四六九二番 ・ 大連高漢館養夜撮彩男女 ・ 東京 で話四六九二番 ・ 大連高漢館養夜撮彩男女 八二〇三番

西公園町六九 電話三〇一九番 前六〇二十

新後屋**曾店** 洋服類舊裝 醫中野 院 通酬栄新鎖連運大 店商男盛尾松 フクコーコンス デンワ6131 一四四六電·五二町野吉連大 表記を表する。大値下げ 大量生産 大値下げ 所属品財 附属品財 所属品財 濟生醫院 其他荒りの四七番 大連市勝河町二 八津川商店 八津川商店 縄ロ土 ンマー 柄各種 ・大理三河町ニー

市川右治丸へ「演) 萬丸 格気歌合戦へことを吹かせい、壁で一脚を曳った。 を吹かせい、壁で一脚を曳った。 がでいこの菓子で対めって、即ら戯 がでいこの菓子で対して、即ら戯 がでいこの菓子でがあった。 ではない、壁で一脚を曳った。 がでいこの菓子でがあった。 では、その押点観光、 ではない。 4 ス

それは破れた職域で でだまして眼で引っ張って いつか後足で砂だぞへ

先の見テない離れなお前 が何にお前かくタついたさ かがらい青生に個を待つ それは盛れた甌鉱で

電話付電話付

克

朗畵

心脈蛇と言はれる。だが

をいってもあばれうつし世のかくてもあばれらる人の身は にはい人に身をゆだれ とだえを握ふよすがにさ しばしさざめむ水の月

市內但馬町二〇

交光

店組合事務所 電三四八五 帰國に付譲る 大連飲食

フヨ ウ品牌画官道

電七四三五

カレ ンダー美人看板 小林文七支店

● ● ● 三行回 ● 十十行回回 姓名在社位 満日案内

四四九一番

番です

算盤

の御用命は

天帆

此印に限る

武印に限る

圍

東徳田

それからが金錐枝の番で、

形響

不用。

特約販賣店 小林又七支店 選人の切望する治療保健を乗ぬる合理的必需品なり 職素オキシヘーラー 職素オキシヘーラー 大連市大山通 大連市大山通 大連市大山通

温「私のは少

型にますよ」 温は 臓な打 の て 眼 ひ出 に

します 高地行一般荷物、引越 高地行一般荷物、引越 一般荷物、引越 一般荷物、引越

別する急性性性でも 別する。 は胃腸障害なき名薬心お試心下され、 に胃腸障害なき名薬心お試心下され、 が悪市監部通東郷町角 天然堂業局電話三七一九 大黒市聖徳町四丁目一二四 大黒市・

ラジウム 温灸治療器 大連市西公園町百五十三番級 滿洲特約販賣元十三番級 「一五十三番級」

少く

ありませんが、この二

東計 粉白粉の何れにも

▼色黒く赤味味の方に

右の外にも選定の標準は

つの標準だけはる承知順つ て置きたいものです新見述

良き水白粉は?

先生方御常用の白粉は

▲百香·大 金五十五錢·中三十五錢

全国化粧品店・苔質店・養店に有

を寒い時だけ變へる必要も

*現に色の黒い私も日常使

れば肌を整へつく美しき化

粉は化粧上りが自然でしかれます白粉下も谷白粉も

いから變色し易いものと思

貴女の肌は餘り白くな

・性用水白粉を用ひます

でも肌のアレ易い時候には少性の方叉は普通の肌の方

粧が出來ますから、化粧法

なくなりまった。
が一般を調節してくれますか
分泌を調節してくれますか

新肌色ですお用ひになつてのマスター五百番袷白粉の

ってるますのは美容研究所

御覽なさ

キ・らり・何い

りとしてきます

於首g化

桁,变色

電話九七玄三

大連樂鈴舎

一カストフオルスターススの間

時其重質にのいの

思案するより

あがれ

11

."

丰 IJ

智

慧

出 3

きを、深く遺憾として、多年鋭意、苦いの肝油製滋養料が、質に此の所油製滋養料が、質に此の所油製滋養料が、質に此のの肝油製滋養料が、質に此のの肝油製滋養料が、質に此ののみである。

想み

苦

化吸收亦最も容易で、異美味佳香の菓子形を呈

胃腸を害るの憂ひ無く、連續食用に耐苦し、小兒は勿論何人の嗜好にも適し、

3

消

なるは、

既に周

知の事實で有り

製滋養料の

自清

醫學諸大家實驗

推

日·英·米·佛專賣特許

香の菓子形を呈し、

水白粉の良否

白粉の良否

上紙

美容大

ければならの事は**勿論です** すが何ういふ水白粉が良し間 私は肌がアン性なので

ことが大切です、例へばア した整肌液の含まれてゐる と変肌液の含まれてゐる

でせうか

Aめいーー自分の肌の色 が私共美容専門家の立場か 得ること ら申しますと 光也

になるのですが何した理由 粧して二時間も經つと鼠色 ない。とは色色自粉で冷 問 色あります 頸首の化粧が變色する 女學校を出て姉に教へ

新見花子述

メリデヤン美容院

香水白粉で何れも色味は三 でマスター三百番水白粉。 にマスター三百番水白粉。 にマスター三百番水白粉。

ぶどう酒 じよっ びみ

0

飲む

肥らず

(1)

む

13

!赤玉な

なれ

は

智

は躰を

·C

(h)

外を痩せる



徳用瓶入壹圓(新 發 賣)は二 千 二 百 粒に増 一 十 銭 包(百六十五粒)を三百二十粒に増 一 十 銭 包(百六十五粒)を四 百 粒に増 一 十 銭 包(八 十 粒)を百 五 十粒に増 用活丹仁 執氣惡宴船音 務分疫會車 整 勉悪流型 强し行煙行使 のきのののあ 時時時時時 時時時時後時

牌金會覽博業工學化 回二第

牌賞產國良優會覽博京東 真照 領受 賞等侵會協明 致國帝 製創部太融合河

融實の家大諸學醫 献文るす關に獎推 品本見に並書明説

成然を最も濃厚なる状態に於て をして、ヴィタミンAのみに をして、ヴィタミンAのみに をして、ヴィタミンAのみに を表がらざるは論を俟たす。本 を表がらぎるは論を依たす。本 を表がらぎるは論を依だす。本

(三) (二) (一) 右部付鐵3肝2合準主は原2品2歸*肝2▼ のを、油・有字要料付はす油・滋・ 各を豊**キのす成なと最高るの養?

各種の有効物質に麥芽糖、 豊富に含有す。 豊富に含有す。 サー及びヴイタミンB等の関

等の强力

含龙 室等

(圖寫縮)

12,56

級髙

大連市大山區州深建町角 滿 書堂 文房 具部 第四九九 四四三〇六

00 沿線各地の御用命は 國 最寄店所? 際

大連市山縣 通, 部険 保

九 父 天様下も の名葉 べかしか イで 純 理店

治治

つ祖

149

被賣元 朝鮮製藥 然去會計 腦 會

◎ミツワ石鹼本舗 二長町營一丸見屋 O菜斑

所店

■野代用三朝以下差叉へ振し、市内は一張にても記載とした情報に品切の節は本舗へ御註文を乞ふる際に、和伴潤食料品店、雑貨店にあり、

捌

祭養補給を目的とす。

的とする、

も適當なる滋養料なり。

度 五十類入一

金金

病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加谷兒、其他結核性素質を有す

種々なる直接醫療方法の傍ら

精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に榮養不良に払く夜盲等の眼病、及び佝僂菓子狀となせる美味住香の滋養料にして、一般榮養不良、虚弱、貧血、産前産後

1きのふから大連四署

専賣局が

取扱ひ成績

鹽値下げ

月一日から

六百五十一通で昨年の十二萬四千

に鋭い眼光る

登表する答であるが、

鑑田整理が

電局は二十三日午後

響の値下げた

電気に二十三日午後

響の値下げた

師ち九分四厘の増加を示してゐる十一通に比し一萬一千六百四十通

御眞影恙な きのふ大連に

お正月用品

例年よりは二、三割

お安く新春が迎へら

ツト下

八百

大内東京出張所主任が捧持して 直に關東廳に奉安

ら除すさころアト十日、何一

二割安○ ○二割安○ 本棒鱈百匁〕

不屆な運轉手

大任を 果し得た事を喜ん 照宮様の

関東京二十二日登電通 助な際されてゐる編の審な見 の上を思否されこの態度なか の上を思否されこの態度なか の上を思否されこの態度なか の上を思否されこの態度なか はて際宮海河田のの元其を を を は、 に の の の に の 。 に 。 。 。 に 。 に 。 。 。 に 育兒院に下

御取り一への思うか以て関東殿に したが、同般には野報の短く今回 したが、同般には野報の短く今回 の思うか以て関東殿に

品の他既及び昨年末比較は次の妃 とである 半入一俵)で五動がの大器激振り ※職米が二個四十銭へいづれも四 が出る四十銭へいづれも四 一度のお正月は郊年より二、三割

仕族くに取りかゝらればならぬがめ正月も除すこころアト十日。何 サテ本年お正月用日用品の根場を仕度くに取りかららればならぬが

13年大内総大郎氏がこれに供奉申上げたが、関東殿よりはこの日佐上げたが、関東殿東京出張所

を野成してぬた。

何さも倒命令な受けてるません

機中に大内氏を訪れるきであ

飯島水上署長の先導で浄布もて包屋にはるびん丸の岸壁繁留さ共に

滿鐵各小學校に 御下賜の御眞影

(火曜日)

が、混織谷小県校代表者は騷頭に し、二十四日九時大連登の特急に し、二十四日九時大連登の特急に し、二十四日九時大連登の特急に を終り無何最優別と極持して二十五 の本紙り無何最終を極持して二十五 を終り無何最優が極けして二十五 を終り無行。というなのので表 のですることとなってある、太田 局といった。 といった。 のである。 大田 のですることとなってある。 大田 のですることとなってある。 大田 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 ので。 のでる。 ので

病首相

と幣原

さん

7同司

三千丘萬 鑛山では福岡監督局管內第 場勞働者 阪が首位

東京二十二日教電通』内閣統計 局教表=本年十月十日調査の第三 一世の受験総計覧地調査工場搬山及び 学験者権数。 内閣統計局で發表

は凝り散機の物性を見たが傾等の一彩を使ってるるが、やうやく物膜さん選至さなつ。 國務大鼠ふたりの會見を打切らせので、二度目のベルを鳴らした場 異概もなかつた、それはさもかく 百二十二、勞職者數二十三萬二 織山 全國に於ける鑛山敷は三 冗談いひ

八寢相悪し 全身の屈伸運動

病室の氣分朗らか

十二日發電通』始 である『富眞は美つた濱口さん』

「東京二十二日餐電通」海口首社 もいよく、外部さの食見か許さる ・事さなつたので男子失人は本日 たの短く譲つた アレ程の重視であった濱日の容 アレ程の重視であった濱日の容

は巻人さ云ふから襲も著人だれ」 ● 本根吉氏や能様のおよりのというというというというでは、 をいった、 をでは、 をいった。 をは、 をいった。 をい。 をいる。 をい。 をいる。 をい。 をいる。 をい。 をいる。 をいる。 をいる。 をい。 をい。 をいる。 をいる。 をい。 をい。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、

昭和五年十

類が長く

0)

真鍋主侍醬 氣を揉んだ

愛つてゐるだけ

想像したより元氣だつた

弊原首相代理語る

御眞影を奉じて

きのふ埠頭で

管職に明礬げた幣

まつさ見たきりであったが

二月

話に身が入り豫定五分間を超過

一一一會見

濱口さん

の上機嫌

會見打切の

Ξ

皆様の御誠意 感謝の外はない 夏子夫人の談|

軍めた看触によって今日の狀態 は意の母く有り難く感じた事は は意の母く有り難く感じた事は が同家の為めに動き得るであら が同家の為めに動き得るであら

で今回の値下げな訳覧に入れてあるのであって明年一月一日より質能がであるのであって明年一月一日より質能があるのであって明年一月一日より質能がある。

せたま、原車もせず、水客を送って松二十分を絶て勝途同所に差して居るのに始めて銀づき附近の もて居るのに始めて銀づき附近の したが沙河口器では販調べの経駅 したが沙河口器では販調べの経駅 では販調べの経界 でく前に告養した でく前に告養した はたま、停車もせず、來客を送つ

大正天

皇祭

近住民は聴情してゐる

白神報

皆様に暮の御樂しみとして

滿洲はまだ

・ へ境内に終て盗用式を結合するさ 連載計画を始め氏子役員参列のう 連載計画を始め氏子役員参列のう 大連神社遙拜式 電車支人轢殺

に配って進行中、前がより疾走し、運輸手種川(ご)がか河口方面 須町五十六番地先を勢工専用車へ二十二日午後五時中ごろ市内惠比 ゆふべ東關街で

出し数三瀬間ではるびん城で輸連出し数三瀬間ではるびん城で輸連

三菱支店長談

社頭の雪懸賞募集

大連市満洲日報社廣告部懸賞係宛一、懸賞を切 十二月三十日の郵便局消印あ もの一、懸賞を切 十二月三十日の郵便局消印あ もの一、懸賞を切 十二月三十日の郵便局消印あ もの一、懸賞を切 十二月三十日の郵便局消印あ もの一、營選者多數の場合は抽籤による 一等 エ名 同 同 チョコレート 一箱宛 優全一、営選者多數の場合は抽籤による 同 チョコレート 一箱宛 優全一、営選者多數の場合は抽籤による 同 チョコレート 一箱宛 優全一、管理者多數の場合は抽籤による

價金五 價金五 十 錢

百名に林洋行菓舗特選品を進呈致します

• 人 # 信用 電気 # 利用

革鎮堡公學堂 教室を焼く

日午後四時二十分ごろ火災捷り数率二室を贈き同五時戦火した、損害二重を贈き同五時戦火した、損害 大連署管内革鍼堡公學堂に二十二 ランド二十一日養電通」が日飛行の上がより當地へ飛來した。夫人はシャートルより當地へ飛來した。夫人はシャートルより當地へ飛來した。夫人は

記の妮く蒙蒙があった。 幼年組進級者

極貧者に同情金品

新築一月建家屋土地八十二坪餘 東河東數 五棟 平二十二坪餘

理想的築雕賣出

會社 正 隆 銀 行年十二月二十三日

お好みの温度に自由に加減出來る

四圓

貳回月賦

月期提供御事込次第型錄進呈

(33)

C松下製六〇ワット)

器。原

絕對安心

便利で經濟

間取 八疊、六疊、六疊、二疊 建築程度 澳殿炊事場

花屋ホテ

ルサ三日が開業

則十錢の資料が集つたので二十二であつたが百四名より金百三十七

慈善映畵會の成績

名即刺

お正月餅と

花乃屋本店へ 世二の九番

最多簡和 家會場 明明三大 横會教 話 電 22345 ×5148 ×5149

普茶鍋

出 し理司 橋ガス會社前

年賀郵便

日用食料品を 參考二 市内から約四十種を 大連市社會館にて 列 アン 都君 高級・新、際、映鑑 大 附録のき「富士」新年號は 果然 大 附録のき「富士」新年號は 果然

監める機様である監観地は前風さ 平では断臓家屋ありその他神黙稲 のは芸八日の磁震より強く安

商氣人信韶

臺南地方に

又復地震 安平に倒壌家屋

一の三回にわたり驚地方に躍襲あり、 五十二分、八時八分、同二十六分 日二十六分 日二十六分 日本

日餐電通』今朝の地震で露南市内田町四二番地先に突如温泉が噴出 略同様らしく 温泉噴 心臓なさら 出【編書二

本三級(+)内田金光 ▲三級(へ)) 本三級(+)内田金光 ▲三級(へ) 平山十吉、馬塚勝男、永野純一 三浦定 ▲四級有江勝、吉未末吉 三浦定 ▲四級有江勝、吉未末吉

日市役所に出職、分配部時法を申出て、また民政署員有馬真二氏は出来一隻。敷島町二葉日艦學校は一会五個、某版名者は金一個の智附 三分の一入金後七年年賦賣却 三分の一入金後七年年賦賣却

何卒倍舊御引立の程偏に御願ひ申し上げます。

◇清雅な和室◇清麗な浴室◇ ◇最新の設備◇瀟洒な洋室◇

電話番號變更

大連市信濃町七一八五番

水

テ

して戴きます。

皆様の多大なる御同情と御援助の下に新築落成愈

栄養上高一千三十二個五十錢、支帳を以て戀醫映鑑會を催したが會 モチ米

前モチ米(一升廿八錢

一等新米1以四間卅錢特等新米1以四間午錢

四四町狭岩連大

是非本年もナニア町の クリスマスのお贈物は

時代の銘酒

升

味實時菊 燒 凍酎勢宗

一八八一圓六十 鏡 鏡 鏡 鏡

さ應酬して大笑ひ

當山名物△盤若湯御一名二本制度▽ 應出前

電力七五二番

開業一週年自祝として 本日より二日間、廿三、廿四、廿五日

电話三六七八。三三八五番

を注ぐのには追つつかない。この のは除程取締が離しくなつたが、 大戦「ノー・ズロース」が離略さ しては最も燃料がであること、い れてゐるし

かかあるさいふではないか。 か上のボールは何さなく明るい紙 か上のボールは何さなく明るい紙 か上のボールは何さなく明るい紙 があるさいふではないか。 一村一村 世上海上海市场

んださうだ『寫真は

変化が、さう長く概く響がない。 に現出する、今日のやうな邀凍

大効力

キューナード 汽船會社 朝鮮郵船株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 組客業務代理店 地域に発育が担となって変勢を保る人や、窓に一命を失い人が多いも間に他の脊骨の中には、電極がが、本病に動し世にも縦なる事門とって居るから、を聴観しつ、ありし頑固症でも気は動脈になったり、交替側の 横になったり、天育中の 横になったり、天育中の 横になったり、天育中の 横になったり、天育中の 横になったり、天育中の 横になったり、再び學校へ通ったり、快活に仕事に從事する横になったり、身間が明れたり、快活に仕事に從事する横になったり、身間が明れたり、快活に仕事に從事する横になったり、身間が明れたり、快活に仕事に從事する横になったり、身間が明れた意といの影響がある。

関際連維会性大連支店 関際運輸會社大連支店 関際運輸會社大連支店 電話三五一番 二キーム市場所で電話四八〇二番) 二キーム市場所で電話四八〇二番)

たさいふ。成型男は鼻柱朦朧になったさいふ。成型男は鼻柱朦朧にすかった、彼が観座ル場を纏つた。 をの既然井須摩子が「アルト・ハイデルベルと」なやって人気を得いないとしなやって人気を得いない。

∭日淸汽船速出帆

國際連輸輸大連支店 医真局骨接所公共連市山縣通

大阪商船韓武大連支店大阪商船韓武大連支店

(火曜日 外面员

大阪商船縣 電話四一三七番

胃湯障害……絶無效 多数醫家の實驗推獎

方被と記とい

THE SECOND SECON

小倉厚司

佐藤田四五七巻 大連市信藤町市号 大連市信藤町市号

電話八五〇九・八七五六番

过

7

勉强 圖

特子の産製で、御書食、五十銭、御會席 味覺行パーセントほていの勉強振り

電話六五四四

鑛業所

というになって了った。そし 銀座レードゥエーさなり、実術はモンマードゥエーさなり、実術はモンマードゥエーさなり、実術はモンマードゥエー

享賣特許 金牌受領 電景八九一•五〇〇一

料理界の諸權威月別に執筆せられ 優に料理講義録一册の内容あり!

敢て別册の家計簿を買ふ必要なし 日記として、曾て見ざる大奉仕!

兌發

振 替 ロ 座 東 京 七 七 〇 番 東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地

咸嘆!なる程頭痛

1:

全國築店にあり

浪速デパート階上

POWDER

効果確實、 臨床實驗に於て、肺炎、肺結核、その他四日咳等に卓効あり。肺炎、肺結核、その他四日咳等に卓効あり。急慢性呼吸器病の咳嗽喀痰を伴ふ諸疾患、氣管支力タル、喘息 と推奨。せらる。 委細文献は御申込み次第贈呈す。 確實而も副作用殆んごなく真に優秀なる樂品ごして推奨するに値す。 臨営の総てに於て除外例なく奏効し。他の法族、鎭咳劑に比し其効力の顯著 副作用絕無、香味快良、服用容易 錠期、Xスチル 類末、液劑、 盤塩 東京市日本福岡伊勢町大阪市東區道修町

嘴吃&(III)分下 9 श्चि

營宮 **〈營業所** 所

切手代用一割増いる。 ●到る處の書店にあり 送料十二錢 (坦時期)

定價僅か九十錢

(火曜日)

ある院内標務の顔幔れは左の如く 容を以て臨むか目下有力観されて

東北(一名) 麵切善兵衛、八田宗 吉、關東(一名) 四信也、安藤正 純、北信東海近畿(一名)山本条 太郎、輔原位二郎、加藤久米四 太郎、并上孝哉 野田俊作、藏園三四 | て東京鵬は根津氏の韓越で工業俱本名] | 参田重政、岡田 | ち四名出席する事さなつた、耐しるの。 ののでは、一般には、一般のでは

あすの

する最善を盡したもので

れを快歌しいくて大阪館の称楽、安美内閣に申入れたので内閣もこ

合せ少肚質業家を推薦す

補參謀次長 長中將 附少将 日下

に設置することとも月一回以 の東區、別車を有する主要

0

二十三山(西の風)崎 各地温度 十二時 旅順同三、○同同三、○同同 一一四回同三、○同同

田

中

二速

大連市伊勢町

四〇六八

年制度 種程度商業に 商工學校改組に決定

激の膨脱會社定野脱武島は、実総、た胃震地東所に入鞭した、これ髪、し廿二十年间天津養廿三日入 ーローを介し栗観察を購入契修彫続山氏一行の來連は像定を急に する事さなり既にツーリストレ

來連に變更

副官等準備を整ふ

蔣介石氏の馬やつと見つかる

によるさ、一代は「常成計会教授者氏によるさ、一代は「常成計会教授技術、この間監地歴住のき事に北方政府観立に数者長質就徳氏・まるさ、一代は「常成計会教授者氏」を発表されて、所くさころの間監地歴住のきまれた。

北方問題最後決定 將領會議 馮玉祥氏も参加せん

西 帰作義、西北軍代表宋哲元、屬城 り先前々就にて先發ならて來連ら西 爆雑長)氏らを据き。後職駆失氏の になつたが、同離上に顯示群氏も のになつたが、同離上に顯示群氏も の構案であり現然執端等氏所有無い 1 単良氏は宿會議終了後障難の途に つゝあつたが來連確定の報を受けり、學良氏は宿會議終了後障難の途に つゝあつたが來連確定の報を受けり、學良氏は宿會議終了後障難の途に つゝあつたが來連確定の報を受けり、學良氏は宿會議終了後障難の途に つゝあつたが來連確定の報を受けり、 1 単立日政昌丸入港の際便宜方なを依書

ける重要打合せ 政友對議會陣容 あす議員總會で決定

既る猛烈で艦に決定するか闘本定の艦氏である、而して今回は残に 東郷質

十三日午後一時から本部に議員總 慎重に銓衡 與黨院內役員 勞働法案懇談會

東京側も結局出席か

の事情に押されて担郷が依頭する 四名の出席を見るものさされてる 四名の出席を見るものさされてる 合せ少批賞業家を推蔵する機械であては根準、大地献氏は出席を見場合は根準、大地献氏は出席を見

中將 植田 長中將 赤井 附 叶 阿部 信行 中將 長谷川直敏

監修調査の要は含さの連繫保持に努力今度整備研究會を組織し緩済部か今度整備研究會を組織し緩済部か今度整備研究會を組織し緩済部が、 ありといて研究を 内閣僚歌において献義されぬたる 内閣僚歌において献義主義 が現場の實践されるで をあため往々診備の使用上鍵像が であため往々診備の使用上鍵像が であため往々診備の使用上鍵像が であためはなく診備の使用上鍵像が であため、 である。 である。 であため、 である、 であため、 であため、 である、 である。 であ トなつた、前して 影像研究會は 満 の は の 質能を 動すること 適宜に委託會を開催してその研究 の結果は蝦道部長に報告すること 場所は左の九縣に決定した 会長大連驛區設備研究會の設置された。 金長大連驛區設備研究會の設置された。

大連に亡命し來る。 前の北方政府主席屬百川、

あす

大

觀小觀

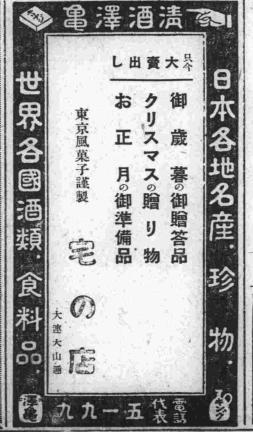
森下知灰郎

中野次官に 極力留任を勸告 (憲五

後の市會は職務されやう。 財意を表明、その目的、市議の私 慰田市會議長、庭々けふ正式に

代の政戦、物震さな態はしむ。容整岬に感心。經濟、外突國難時常動脈近づき無野谷政策、障 順震も同じ級の蘇。 大蒜板 公司 荷入數多型新 入荷 米國ソノラー蓄音器會社直輸入商 御 知 蕃 5

ソノラー A1





三日午後一時から開會の智

芳ゥ

醇キ

無比ウェ

ヰ

nade A

1

市稅務委員會

中谷局長招宴

滿洲總代理店 永

豐

補支那駐屯軍司令官 標文那駐屯軍司令官 標軍少將 香椎 浩平 開東軍々決會議法務官 關東軍法務官更迭 一十二日發電通』本日左の 操 松井教授歐米出張

滿鐵驛施設改善 九ケ所に委員會設置 補關東軍々法會議法務官 清一

● 大里甚三郎氏C満観賞物係主任) ・ 大里甚三郎氏C満観賞物係主任) ・ 公主観に於ける温保大豆見本査 ・ 公主観に於ける温保大豆見本査 ・ 記書に発表した。 ◆中構幸吉氏(前滿碗衛生課技師) 一十二日市内各方面を懸訪挨拶 一十二日市内各方面を懸訪挨拶 本千石甬雄氏(滿螺工事部築港課 技師)二十日附グレーンエレペ を得道雄氏(滿線質物課長) 沿 「一十二日市内各方面を懸訪挨拶 「一十二日市内各方面を懸訪挨拶

安東縣總版資 店店 事 子 多 店行

勝山洋行



諸般の からの酸して来る。 車 あるものはその馬城で市場に持ち出し得ね **木北各鐵路** 營 民は脚部が強率し なったのであるから、ある意味なったのであるから、ある意味からすれば却で厄介になったこいふのも支那館の管漑に魅力がないから本年のやうに少らや歌練がなこと思ふこ、像によって厚暖がなこ思ふこ、像によって厚暖が を整然ないであることは明瞭な事態で、一 もいの連絡があることは明瞭な事態で、一 を整然ないである。他といばれる を整然取りさ全く異らぬやうにして を終め取りさ全く異らぬやうにして

選し縦数などの認識はより緩起しままなが、人情がほかなが、縦つて脚腋の出まなが、縦切て脚腋の出まなが、縦切なが、縦切なが

取るものもないから睡暖の出渡れるものもないから睡暖の出渡しまれてした。これがれてもあっては取りたくも

馬賊の出渡如何は支那の治安維 さいはるゝ八郎嫉称近は緑林のないはんば、大ちつ。故果傍陛氏の生れ故郷 く鬼潰れにしたものさいはなど この間のさきなご数十い馬販が 単記さらいはれるのであるが、 悉く白馬に跨つて堂々さ押し寄 史 での息氏が特配を積んで附属地への息氏が特配を積んで附属地への息氏が特配を積んで附属地へ

のであるから迷惑子高さいはれ

本在か雅つたさいふのではある 野販の如き、真逆、張學良氏の 野販の如き、真逆、張學良氏の り殊深せい、が然らざるさきはれてゐる場合は流石の賦目も縁 大小の馬賊が所在に出現する。 る。治安が比較明よく維持されのバロメメーターであるこい

(日刊)

里要諸政策に

に對する

9

傷

走

燈

流不の事物通も真迹

那酸電影の検別の注意を興趣さ とか、概然、肺臓な事故が突動 とか、概然、肺臓な事故が突動 とか、概然、肺臓な事故が突動

さ見らる

聞いので結局辭色の已むなき

日二十二月二十

界 木 的 人行 二 和 口 山 人相 略 太 庄 下 山 人 人 地 带 一 州 州 同 公 東 市 田 大 社 報 日 州 縣 社 会 式 块 例 行登

刊

の所當局の答辯方針

豫算、軍縮減稅、

公債政策等

の蒐集に努む

東京二十二日發電通》へ期議會

農村不況

障容を整へた上議會に臨む

の院内總務は左の如く決定したの院内總務は左の如く決定したの院内總務は左の如く決定した十郎(又は原佐之治) なったが、今畿會は海川首州の遺

郷か、當田幹書長等の
高殿部が二に決定してゐる、而してこれ等を に決定してゐる、而してこれ等を に決定してゐる、而してこれ等を に決定してゐる、而してこれ等を が野議會極本が針については像 で、安選内根据に原野頭 重要素特別委員長全部環境のお

奉天電話

東北交通委

與黨役員銓衡協議

『東京二十二日登電通』民政策役【東京二十二日登電通』民政策役

一日午前十時中で業は一部に會見

任中將

任少将 製補百七十名の定期。 小将 魚

務官以上の分左 潭 少將 牛島

少將 解谷猪之彦 第十二師團軍法會議法務官
第十二師團軍法會議法務官

國へ出張を命どられた 関へ出張を命どられた 関へ出張を命どられた

山鐵辻宅 東洋行 0 屋店行店越行部行

注文は左記の店 大連市山縣通百八十一番地 スホ 丰 香聚

速東

星

洋

味自慢カン # ばと羊羮

震 张

巾豫算查定

振替口座大連二六一九番

满蒙毛織 韓祖直賣所

本一、場所、沒速通り十七番地直賣所
本一、場所、沒速通り十七番地直賣所
高多數提供仕候
高多數提供仕候
高多數提供社
高多數提供
一、場所、沒速通り十七番地直賣所

市會議長後任

依然大內氏有力

世

U

變造紙

と祭文郎讃次で

游鐵總鐵代理以下蒙別者

は屋根の短くでもりでありに織れ込ん

歌が合はのので調査 「除舎記感窓膜大郎が 「保舎記感窓膜大郎が 「は一般家庭に注意を促してゐる」 「展報の如くであるが 「あらずして使用したものださ驚弱。 「のとうちに残ってゐたのを全く 一用したもので、安東より戦金した したが取調の結果、信濃町市場生 したが取調の結果、信濃町市場生 であに五圓で蛟籠したものを發見、

精神病患者

政策長、流震線線代理以下参列者

りよ日三十二

賣廢大仕奉の尾掉年本行洋華浪

糖出資を得いた

在満旅館が全部の現

京都伽藍焼失す

國寶二點をも烏有に

これを買取

では考慮打除策さし では考慮が悪いで民際 では考慮が悪いで民際 では考慮が悪いで民際 では考慮が悪いで民際 では考慮が悪いで民際 では考慮が悪いで民際 では考慮が思いて民際

動大連民政警長代理、滿號總據代為財産の大連民政警長代理、滿號總據代

大院下のさころ廿日午後十一時五八院下のさころ廿日午後十一時五八院下のさころ世日午後十一時五のか同院頻糠電視人が登見直に土井博士がଚ藤郎手管を駆したがまに土井博士が藤郎手管を駆したが

家、概本の正融資払以下十餘名に

民營旅館會社の具體案

大連黄金町廿七番地黒田野吉(ま)

大連聖愛分院で

式を強受けらめ全機が 配入が内地取引焼に五 での動物が引焼に五

京庭大宮八條真電派東張郷内伽藍「京庭大宮八條真電派東張郷内伽藍」「京庭大宮八條真電派東張郷内伽藍」「

二機はエンジン修理のためカルタ

に低利賞金の借入を現物出資により得

佛際四天王(内二點は國賓)は燃 名な理源大師作の干手觀音像及び 名な理源大師作の干手觀音像及び

へナに滞留中である

煙草から失火

磐城町の火事

連大 浪

荷

老

語

行 t

港橋で船乗り

偽刑事に引掛る

職金の總統は四萬歌千圓に上つて での例か決あり、二十二日午後二時一木宮継は谷代表者を宮内衛に は全國各種の以次あり、二十二日午後二時一木宮継は谷代表者を宮内衛に は全國各種の以近のり、二十二日午後二 は全國各種の以近のり、二十二日午後二

震災遭難者慰

日午後二時より大連商工會議所で、職員の根敷災避難者診難祭は二十一

概需莫大の見込みで目下取職中明か提灯から失火したものらし

提灯から失火した

がこれも局有に除した、殿政は絵院駒の壁に成る霊龍の郷があつた 失した。なほ天井には有名なる、

一般既氏がの火災につき大連器 既報、市内磐城町十五番地新潟栃

ピストルをもつて威喝

すれて監然境院の陰影が事 結果。

マキノ

大連には

櫻木梅子や泉清子が來る

慢連街頭進出

度国の火災保臓が肿してあった り窓に火事さなつたもので全くの り窓に火事さなつたもので全くの り窓に火事さなったもので全くの

捻出

Δ

では原西に難はしい點があったのでは原西に難はしい點があったのでは原西に難はしい點があったので現場機能及び關係者を召喚取調を入れた行き工作を地下室に持ち壓ぶ途中手

或っ者は常い を一連が衝離 を一連が衝離

さして、マキノ保優スのをがこの等職軍用金

なく、 が総若しくは常時館の が窓 なく、 が総若しくは常時館の が窓

車掌が賣る

偽せ電車切符

本部に送り頭に

員の活動費に當て

である(寫眞は櫻木梅子)

る者はマネン

も規則に從ふ陸り證明するさの事 地保安盛にては案内人さしてなれ

中、來客に無妨乗車笏を實つてる

を晦まし行方不明さなつたので

| 大連市磐城町 | 大連市 | 大連市 | 大連市 | 大連市 | 大地両町 | 大地町 | 大地町

000 0.0

行

是非、大連上空を

九三一年への前奏曲

時代の寵兒航空

會社

真影傳達式 あす正午、大連民政署で擧行 各校では奉迎式を

家を方配では萬一を通り記述おさくますないが、電地水上器においても特に年末時期でもかり記録を方配では萬一を通り記述おさくますないが、電地水上器においても特に年末時期でもかり記録を受け出て、100元期間連れ年後二時五十分大連は、100元期間であるでは、100元間には、100元

值段—近頃日鰻上り

何處の山元でも貯炭量激減し

い粉炭の賣れ行き

場等の職くまでは常然機能の際がも 結果 ものこれは不可能のことで、塊能に動きる、性は不可能のことで、塊能に動きる、性がの職くまでは常然機能は魅力の関連に対しては高級機能に対しては高級機能に対しては高級機能に対しては高級機能は関係では一般である、解析が影響を使用する状態になりませ一般で全部機能を使用するは、よりない。現代に動きの概要が影響を使用するというない。

をの後には、というでは、 な名の電楽は果然日本映画界にせばしているたが、今マキュンセーションを登き越してるたがかり、今マキュンセーションを登き越してるたがかり、今マキュンセーションを登り出してるたが

来たが、常殿が楽さして そノの幹部が変観さして てるる機木様子さ、同 変優の般源子が來連す 、十二日監地 契常器館館 、大連署保受係に設館 で、大連署保受係に設館 開網にまでも手を延

第二

捜査願があった

貧困者に同い

伊飛行艇隊

航程を

流』大西洋樹〇イタリー飛行艦 流』大西洋樹〇イタリー飛行艦 でロッコ、ケニトラ廿一日奏電 がきるので會社職では仕事がしにく、「在版の人類となるが水年は是な大連上空を飛べる際に計して覧が水年は是また。」では、「大連上空を飛べる際に計して覧が、「大連上空を飛べる際に計して覧いるが、「大連上空は飛べり等人でした。」

さを聞きいたく同情

飛行費用がフォッカースーパーユ 横山氏素描展

台所以无 公設市場物價

4.1. G

優と壁の殿堂を築いた東子殿の舎 髪の陰に以て、 棒げて、 一映画館 ル六人乗で五百削除から 開覧さしても一人懲り旅

ではいるのが 二千萬國の政府補助金を ふ騒事があるだけ、また ふ騒事があるだけ、また いるででであるが

ひえからなが

大小九三〇年もアト観音をもつて ら繋がしく底密輸送を開始したが 十一年に二千萬年九八でしまふ、昨年 老 契文士が 今日まで一年で四ケ月、その職一 ひふこいふ場のたっと だ、本年十月から大連から顧識ま の総い突艦院などにかく三〇年建てからかっと で一日直通こなってから利用者は ちから騒を弾へ しまで一年で四ケ月、その職一 しからいるだらうさ継電したさやら、さ だ、本年十月から大連から顧識ま の総い突艦院ないからのたっと で一日直通こなってから利用者は ちから騒を弾へ で一日直通こなってから利用者は ちから騒を弾へ で一日直通こなってから利用者は ちから騒を弾へ はしたで は、本年十月から大連から職職ま の総い突艦院などのようなどの大連から は、本年十月から大連から職職ま の総い突艦院などのようなどの大連がある。

十日のうちに御えてしまふのだ。 しめたが、明けて三一年にはざんけ、その三〇年も戯々慌たどしい のけ、異色ある三〇年を影響あらだ、その三〇年も監々慌たどしい のけ、異色ある三〇年を影響あらた。 その三〇年を影響を含い熱震 僧加し略潔延人逃走等を危い熱震 にかく三〇年を影響もち

車からの許可を得なけれてみても「私の方の仕事

いに養威しまずか」と含れてなかく思いのだ「衆年は難に似であらこ

猪肉が参りました

FRY'S CARTETS 英國製のチョコレー フライ・カドベリー 味ざいひ質さいひ世界

NAME OF STREET 中ででしている日田の石田の 部プラグスに当 高 200 1:•00 15.00 1•30 4.0 (t) o () 1.000

ことのころうではいる。 2/2 麻 3.00

電三九〇三番

ヤ其他色山 々柄

用品一切品揃

肌スハスス手靴 テカカバ ツチ 1 ツ

毛フ及ス

無白

二圓五十錢より二十三圓より

ヤツ

自白シ中中シルヤン折山ク リグ帽帽ハツ

紳士用品 年

0

御贈答品、

御迎春用品破格提供

歳暮の御買物は浪華洋行へ

神の上、お前れちに泣きか見せるに たくれえ。 郷や妹のこさを訪れて たくれえ。 郷や妹のこさを訪れて

でい、父親の痛べしい力をしかん! 販膳は、繰り離すには窓体もな

撮影所訪問記映書週間準備の 賀見太郎

リンコン中の村出来が長の御機の日心水所長の御機の日心水所長の御機 機嫌よく、東京

地へ典階をれず伏せながら演えど のれが大それた行為をした計りしまつた。それもこれもみんなお

火曜日

700

おれた日は一日だつてありやしれた。 ここに何うしてあることか?家出してからの年を樹がり験へ、立家してなった手前と連ふ日を繁しみにしてなったのだ。それもこれも水ので、こかなったので、それもこれも水ので

親子は散りくばらくになって、後年の間、手前のここを思ひ出さの金澤にさへ、居るに居られず、あっても人の子も同然、この二十歳即なした計りに、能は生れ故郷、窓じ彩してゐた。能も二人の娘は

Appl

(高田解纂)放送指揮(石川和維新一郎) アナウンサー (日守新一郎) アナウンサー (日守新一郎) アナウンサー (日守村新一郎) アナウンサー (日守地) 一条指揮 (高田解纂) 放送指揮(石川和維 同麒之助〈上調子〉同麒和太夫、同兼字太夫 〈 司献之助〈上調子〉同麒 大宗司兼字太夫 〈 京都等) 同縣

あ、これは気がつかなかつた。 を作り表現を恢復し、考護を助 を情が表現を恢復し、考護を助 を情が表現を恢復し、考護を助 を情が表現を恢復し、考護を助 を動力が顕大し、 を動力が顕大し、 を動力を動 ものが違ふんだ、ホラこれだ」

装いも

トでは総比監督の「小機会五郎」 の進行中で蝦姦の山田五十鈴が庭 様でアクションをつけてもらつて で長氏さ挨拶を変してゐる、セッット入口で撮影を終へて除る伏見が束髪姿で敵切れのいゝ言葉のという。 **現代間はセット撮影なく、翌川** 高調問し対句なもに養成「あの唐」 企製代五百個を忽ち決裁、滿洲映、 「それ見ろ。無地したと思やあるよ、質は僕などは更かて買いなだ。が説僕もこの一部で買いなが、が説僕もこの一部で買いない。ないでは僕などは更かて買いまでもなんだ。な蔭で御覧の通りですく、行れる様な元気で、社会ででありだ、ハヘ……」」 で気分恢復は素晴らしいや」で気分恢復は素晴らしいや」 でよし!!これを機會に僕もその 既に定評ありだ、ハハ………」 を がつての情力引 ◇カフェーイツトの夜◇

のクリスマスケーキ

ジャスを屈昧

ブな意匠

と内地御土産には

屋

人お吉の

各館新春映畵陣

大衆的なプロの浪速館

▲長眼「俄獅子」、明心教初太郎(三 「高成」音楽客音樂、同政丸 (同)高木夫人〈尺八〉管井一童 (同)高木夫人〈尺八〉管井一童 (同)高木夫人〈尺八〉管井一童

村田駒吉Cコアトン和田 「一首歌音多に就て(大 早利守太郎

「なんだ要屋へ連れて来てどう するんだ、薬なんぞ飲んだつて



適當答品 御品 1-

して美味に調製商品券の

常市場電話主工共毎の方 商 販 賣 店 部

| 事務用品

内鎖



大タクの

(市内配達費共) (市内配達費共) 大連近江町(西廣場入る)

二三四五六七八九十 古 喜 古 去 去 志 夫 尤

[2]-

○取る金社の午後○

費ったが

ですが暖かけれあもうがし元気ですか。 「財産」元気のない返事だね。

(第三種郵便物認可)

AI 識

(146)

第廿中回

滿日勝繼碁

高本 吉郎氏

「えッ!」さ火の弦小信楽歌が手にした五郎八茶碗を駆けず取り落。

大盗人に到職、わりやアなつてし、い時から手軽の題しわれのことだ。 とうせ破な難似はしてぬめえとは、 から手軽の題しわれのことだ。

を開にし、その儘に去って行かう を理すさ、よう (一般い脚取で、 おでんのかつギ屋繁の雌、天秤棒

悲戀相合傘 GID

「おう・光、光橋か?おのれは光明は……?」

おでんやの爺はよろ!

で、引ひ据えるやうにこづき廻しの前、突如にその胸ぐらを捉える

たが、というでは、 できるからは、 できないて、 できないで、 できないで、 できないで、 できないで、 できないでは、 できないではないでは、 できないでは、 できないでは、 できないではないではないではないできないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できな

か?話してえ事もある。降きてえんだ?気し振に逢ったんなやれえ

レタヨカワテルヌリチト

垂れたまとこれも源に繋が濡れて

まなかつた。街心の行くやうに認ってさうちやれる。苦勢をかけて声

俺アお前に逢はせる顔

の上、年幣の俺を泣かせてえの

な、値をするんだ?わりやアこ・戦闘は、父親の袖にすがつた。

一般の人があんな「お母は死に際まで、手前の身を継びの女の子ち」に発を呑んで泣いた。

た。幾ら何でも大盗人の…

「光楼。手前も悪

光五郎は向き面るこ、縦すやう

に言ひきかせた。

映畵週間をひ

カシ

「どうしたらい」んだ?」

◇街の或る薬店の前◇

ーシンー

ノーシン!!

頭痛し

ーシン川

第二週の像定だつたウーフアーの第二週の像定だったウーファーの

か出そうなものぢやないか、ど うしたんだ」 格別原因は判らない

んだが、世響のないのは自分で もよく物る位なんだ、概をする にも頻乗りがしなくてね。その 上頭に繋がからつた様でヘッキ りしないんだよ、折射ボーナス を貰つたんだから一つ転地でも での中でそんな呑気な事をする。……

と酸首の方が浮雲いし…

要だ。それなら判つた心証しつ った。それなら判つた心証しつ である。

金拾貳圓五拾錢 賣

中順 金五圓八十錢

金六直五十錢

切上等塊炭

I-3- 100 % 学・ストング

Lオイシイ ゴハンダナプ キマッテラァ・・・・ カネマン コメトギ ダイプ





二七五七九二四一 九五八一八四八三 九五八一七九八四八三 1000五五〇〇

精の生産高は年々被少の一途を逃 が少さなる、低し近年に於ける豆 が少さなる、低し近年に於ける豆

買氣な

産

況世出

生産高を記せば左の延く を産高を記せば左の延く おいり 最近四ヶ年 まる昭和二年の二千九百

たので市での立思りを見せたが内でまるに、外質需の不振し能を観光さなるに、手り寮瀬群々さして飛ど停止するころ知らざるが好き繋びを示するころ知らざるが好き繋びを示するころ知らざるが好き繋びを示すると、大変に観覚の意数に越く支那時齢出の一帳性は鈴々監絡のをある。また、大変に変したが内である。またのでは、大変に変した。

長業金融機關 設置實行委員會

運動方法具體案は 評議員に於て作

昨年と大差なし本年の豆粕生産

高族十七萬七千二百三十八俵と云高族十七萬七千二百三十八俵と云高族作滅所であったから歩に漸

局于四百八

大大学 (大大学) はいふまでもなく、また歌声會に資 を、そこで特来の問題が行はれることであるので に運動か着しく殺ぐから同 をでの知きは同盟會に多性な を、そこで特来の問題が所要であるので に運動か着しくない。また歌声會に資 を、そこで特来の問題が所要であるので に運動が行はれることであるので に運動か着しく殺ぐから同 を、そこで将来のには東洋人の延動には東洋人の通野さは同盟會にあっては言葉者が大同関 しての知きは同盟會に多いであるので を、そこで将来のにまならなら を、そこで将来の同盟會に多性な を、そこで将来の同盟會に多性な を、そこで将来の同盟會に多性な を、そこで将来のには東洋人の通野 さしてやともずれば内部の嫉親 がに追しないては言葉者が大同関 のであれば強力ならば元素と である。 を、そこで将来のにまなるので を、そこで将来のにませいとあるので はに述めた地さなのである。 かに運動か着しく殺ぐから同 のであまずれば内部の嫉親 がにものである。 かに重動か者とくないである。 かに重動か者とくないである。 かに重動か者とくないであるので がに必ずならば元素と がに必ずならば元素と があるのであまず熱 第十二月に遭入りて機樂工場も一日 「大きな野歌がの腰材料に災されて、然しながら本年上代期に放て 「大きな野歌がの腰材料に災されて、ないで、然しながら本年上代期に放て 「大きな野歌がの腰材料に災されて、大きな野野の不滅で内地と対して、然しながら本年上代期に放て 「大きな野野の下ン底に関つて滅し、は毎月年地二百萬根内外を生産し 「大きな野野の下ン底に関つて滅し、「大きな差しないようである、 「大きな夢髪がの腰材を生産し、「大きな差しないようである、」 「大きな差異はないようである、 「大きな差異はないようである、」 「大きな差異はないようである、 「大きな差異はないようである、 「大きな差異はないようである。」 「大きな差異ないようである、 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないと、「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないまである。」 「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないなど、「大きな差異ないようである。」 「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きな差異ないなど、「大きなど、「など、「大きなど、「大きなど、「大きなど、「大きなど、「大きなど、「など、」」」「大きなど、「大きなど、「など、「など、「など、「など、「など、」」」」「など、「など、「など、「など、「など、」」」」」「など、「など、「など、「など、」」」」「など、「など、「など、」」」」」「など、「など、「など、」」」」」「など、「など、「など、」」」」」、「など、「など、「など、」」」」、「など、「など、」」」」、「など、「など、」」」」、「など、「など、」」」、「

開原の華商 倒產續出 のであらればならない(終り)

なり最近の範疇として一層の顕成。 を一個の一個では、 を一個の一個では、 を一個の一個では、 を一個の一個では、 を一個の一個では、 を一個の一個では、 を一個の一個では、 を一個の一個では、 を一個では、 を一面では、 を一では、 を一で、 を一では、 を一で、 を一では、 を一では、 を一では、 を に電話する旨回答があつ 縣へ救濟請願

(開原發) ◆…例年入超心元 旬貿易が本年は 下旬宣場と出版であるので

豆粕四一〇四千枚今 七十枚豆粕四一〇四千枚今 七十枚四十十枚 七十枚 **沙票弱**

保合

錢

年々漸減する傾向

最近の操業工場は二十二軒

出來不申

五十四三十錢

株(强保合)

大阪

前期

*

取 病 東

東

式

正 金 (銀勘定)
日本向參看質(銀管)
同 十五日買(同)
同 十五日買(同)
同 十五日買(同)
上海向參看質(銀管)
上海向參看質(銀管)
上海向總看質(銀管)
上海向總看質(銀管)
上海向總看質(銀管)
上海向總看質(銀管)
上海向總看質(銀管)

綿袋變多

鈔 豆 品柄 **◇** 引寄引寄寄 定。 意思·保合)

京 米 米

1517.50 1517.50

200世紀 英国法 英国法 英國軍 V 院醫井幡 皆九五八四語電







心身の **東泉湯岡子を御選定遊ばせ** 越年の最適所 至三月宿泊参日以上室料牛減)

かり新春の氣に浴せらる、爲め全滿第一 湯崗子溫 心ゆくば 泉

御山の凱歌 闹 吹

…門衛太右川市

回活

使用になる様お知らせ致しますからお早く 原用になる様お知らせ致しますからお早く 原用になる様お知らせ致しますからお早く 原用になる様お知らせ致した。 原本を でもりで無効になりますからお早く の事映です是非再見な になる様お知らせ致しますからお早く の事時である。 になる様お知らせ致しますからお早く の事時でする。 になる様お知らせ致しますからお早く の事時でする。 になる様お知らせ致しますからお早く

那土土産

浪速館

大品作スミス・ドツシ 子 帽 場ーエフ・ーユヒ演主 にンリオ・ルーア督監 劇 ※に上映機問題解決 がの 巨人征服 アワーガングコメデー 少年探

で質器筋の買びで

が観賞は依然さして不安を強してみせるのに然るべきさころである 株式さしても相當質付いた直後 るがける餓場は保含を鞭じ の株式市場を圧高する大体 の株式市場を圧高する大体 段高記物六十

新島三萬八千枚奥茂東三萬校の賞 他と中緒は八萬一千枚の出來高が 他と中緒は八萬一千枚の出來高が 一度と中緒は八萬一千枚の出來高が 一度と中緒は八萬一千枚の出來高が 一度と中緒は八萬一千枚の出來高が 一度と中緒は八萬一千枚の出來高が 一度と中緒は八萬一千枚の出來高が 一度と中緒は八萬一千枚の出來高が ま三十銭安の五十一園一 票は九銭安さ解保合な で寄り五十三國五さ意 報じたが上版標金が六百

裕敦群、丁新昌、三菱、東水茂、であった<現物大見は油房四十五

一線に上側高値には五十二個丁度 た点と結局五十一個五十銭と止めの があり適期期近を合すれば がの中があり適期期近を合すれば がの中があり適期期近を合すれば が、一番側に総って居る で再び無電事件なるものが聴りる

製工場二十二戦、地域の変称は百一 製工場二十二戦、地域の変和生戦の質 を持つご粕生産高は五萬機様 は1一里で常養料の質和生戦の質 な様は10円で、地域の在側は10円で を対して、10円である。中間の豆粕 は10円である。10円では10円である。10円

左の通りで七月以來戀に減少を來配して本年の月別は一一大、四五八、五〇〇昭和五年 一六、四五八、五〇〇昭和五年 一六、四五八、五〇〇昭和五年 一六、四五八、五〇〇昭和四年 一十、四五八、五〇〇昭和三年 二十、七十二月廿日現在)

小一園方瀬騰も常市はマバラ筋氣 東海ながら間屋筋の踏み物で相常 野台せたみた 盤柄 約定期 値 段 梱 数 部別 四月限一二一七 一〇〇 同 五月限一一九五 三〇〇 出來高四百梱 土

當市も强保合

西片大分型 三仙大分型

豆

限限

大月月月

阪 寄 三三百

花

大

180%四分三 1天弗人分七 1天弗人分七

=

11100 | 前

十九日現在総裁が教行高は左の妃 教行総額 八七七六四二五二 教行総額 八七七六四二五二

鮮銀發行高

六、四五八、五〇〇

二月月月月月日初

〇〇〇九九九 仙仙仙仙仙仙仙 九五二〇七七八 七一九二五〇五

中度麻袋
中度麻袋
一三八望比四分一
青筋直積 二三八望比四分一
青筋直積 二三八望比四分一
青粉直積 二三八望比四分一
青粉直積 二三八望比四分一

敦銀塊週報

兄二日

大大 大大大 表 五 8

** F カロゴーラチル

阪 式四世三五僧比

式

六五五 六五 六五 二 東四 東八

新 新株柄

相場

…劇代時大

---隱--演主…

多 情 佛 高田 京大郎・川田 新子子共 ・川田 新子子共

平



肝付一

澄

江

(7)

あさひ

(8)

(5) (6) 飛びはねてい 歌届 いることできませんが

俱樂部」を讀ませると 勉强好きになり、

しくなる。

・モ大喜び

よろこぶ品

々!!

智恵がつき、

月

紙表號年新部樂俱年幼

始と賣切

飲み易い肝油

(特許)

生長期の虚弱兒童には唯一無二の滋養强壯劑なり

さわやかな香り 心地よき酸味 兒童も喜んて服用す

約10倍量の水叉は温湯でうすめ、甘味を附して用ふ 包装 250瓦入 500瓦入の二種 (文献進星) 東京・室町 三共株式會社 大阪・臺北・経育



鎭咳袪痰劑

肺結核、氣管枝炎、感胃、肺炎、百日咳並に其他呼吸器病に基因する咳嗽喀痰ある場合盛に賞 用せらる。蓋し效果佳良、服用容易、副作用絶 無にして常に安心して用ひ得る特徴あるに據る

包装 粉末 50瓦入 100瓦入 錠劑 100淀入 被削 100年入 ポンポン 100類入 其他 東京・室町 三 土 土 中 命 社 大阪・臺北・経育 大連市川縣通一九三 株式會社三共業品取實所

面にこれな外級人民委鼠長リトピノフ氏に像へ出來るだけ運かに正式回答を励すべしさ答へた 生前の狀態に回復せしめ正規の外交を渉により門題を解決せられん事な希望す」 生前の狀態に回復せしめ正規の外交を渉により門題を解決せられん事な希望す」 生前の狀態に回復せしめ正規の外交を渉により門題を解決せられん事な希望す」 生前の状態に回復せしめ正規の外交を渉により門題を解決せられん事な希望す」 東京二十二日愛電通』網鐵龍鹽支底酢鍛に闘する部園政府の瓢電に終した際田野露大使に去る十九 東京二十二日愛電通』網鐵龍鹽支底酢鍛に闘する部園政府の瓢電に終した際田野露大使に去る十九 悲惨な浦鹽の邦人 速に正式回答せん 廣田駐露大使の抗議に對して カラハン氏の答辯

・ 場げればならの運命の前に立つて を影響ソウエート職邦の政策が欧 でなく引 で 第二の 故郷さもいふべきな 見捨 ので半生の 足籍 を消した、 所謂 『上海特電廿ー日聲』群介荷氏さ 二、山西軍は中央さ協議のうへ處 郷学県氏に離し左記の除撃を崇添 時機を見て移駐すべし の 銀子開以内を防備すべし で、 選本前務部は當分山西に止め 待の 新紫野氏の名をもつて十八日天津の 一、 海本前務部は當分山西に止め 待の 新紫野 に しゅう に 山西軍は平級線及び正太線道 五、

馮玉祥氏は

けよ

張學良氏と會見

西北軍善

後策を協議

閻錫山氏

業線延さ騰還不能の大磁電路級財 千萬圓の揺戯さであるが、これ等

勞資の懇談會

東京側出席せず

きのふ協議會で決定

式(组织)

連闢奉の途につくべし

常に融密を告せた、南京政府は強密を散しつゝあるこさに對し、神経の散しつゝあるこさに對し、神経の散しのゝあるこさに對し、神経の大変に此まつて、北方歌

無である、なほ最近政府に違入っ 世人の注目を割りてある、張學良氏野山西問題解決の條常 氏さは廿三日會見も山西、西北軍 郡氏の処と 大きは廿三日會見も山西、西北軍 郡氏の処と 大きの城と の 一、山西軍は南震、徐永昌に委ね げることになり右の會見は注目された。 一、山西軍は南震、徐永昌に委ね げることになり右の會見は注目された。 一、山西軍は南震、徐永昌に委ね げることになり右の會見は注目された。 に監地英和聚製所に強着し極極地 一大油 (代表電像) 戦をあった 職芸職氏は去る十七日 間回 印動・ 一大油 (大き) は、 こと (大き) は、 こと

し強揚げたを初め横々行李を織め、替を敗援か旨を布告したが邦人の前民食長であった脇深又氏が鴻鹽、【ハルビン特體廿二日羹】 | 一紙に | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100

情實を斷然排し

人材主義を採る

では大部學の修養には適所であら では大部學の修養には適所であら が組をつけられた、出世師感ささ れてある大阪師職長に確されたこ は大部學の修養には適所であら

陸軍の定期異動評

は在留邦人中には特殊のもの以外

浦鹽圓爲替取扱

ゴスバンクから布告

佐継は

能

・

で

進む

意

響

に

決定

した

『天津二十二日養電道』 際線山氏 一行は今 中四時学武昌丸で営地養 大連に向った、氏は三週間大連に 天津出發 間線山氏

世の明年度際人は本年度に大郎に それ自身も形態人は本年度に大郎に それ自身も形態人ではからなく を確実する餘裕を生するごころか でなる、從って盤かに愛された國 でなってとないではないではないで、 を確実する餘裕を生するごころか で、後って盤かに愛された國

陸軍定期異動

新文那駐屯軍市や宿舎指出年少 「世代前の競兵職で歌書からてゐた」 とた非常な勉強家で、日本戦後に とた非常な勉強家で、日本戦後に といれるない。 といれない。 といれるない。 といれる。 といれる。 といれる。 といれるない。 といれる。 といれるない。 といな、 といれるなななな。 といれる。 といれるななな。 といれるな。 といれるな。 といれるなな。 といれるな。 当新大長さ機像のて 職兵學校長少將 柳川 平助 職兵學校長少將 柳川 平助 職兵學校長少將 柳川 平助

補關東車經理部長 標準源理學校 佐野會輔 學主訓練監 長主訓練監 佐野會輔

| 程庫単有數の影衝家である、明年

常息)は頭腦明緻にして肚も出

・ 機能の 要職を占むる 様に と 機能版を 有してるる 、 で 背後に と 機能版を 有してるる 、

小野寺長治郎

のうちにも一臓の海魚が緩れて人材主義をさったもので、

田内・一部以上報酬は二日報】廿日の 決定した日本、東銀野事舎は來年一月一日から年 にはウスリー銀道の代表も参加す 東銀野事舎は來年一月一日から年 にはウスリー銀道の代表も参加す であるさ は不平済々の勝子である は不平済々の勝子である は不平済々の勝子である は不平済々の勝子である に東京二十二日養電道】今時後の重大であるさ であるさ た政府の内地未覧入れ成職は製物、職が食締であるさ た政府の内地未覧入れ成職は製物、職が食締であるさ た政府の内地未覧入れ成職は製材 であるさ に東京二十二日養電道】今時後の重大であるさ に大政府の内地未覧入れ成職は製材 であるさ

東鐵の減俸決定 さいなる模様である

合せた行った

四百廿萬金留の節減

*

光 料 花 柳 病 科 郎次寬藤近 幹将 長陽

場馬ルグド 院醫場馬ルトクドハたのお贈り結構監察連大

一般平調









麻袋變らず







外務省が出先官憲に 元勳御慰勞の 大殿堂もその土窪石をゆるがされる大殿堂もその土窪石を助け、石川の田田の田がある、岩に同倉議が単なる道化芝居に一九三一年中かる、岩に同倉議が単なる道化芝居に大大阪では、岩に同倉議が単なる道化芝居に大大阪学

『東京二十二日養電通』 長き邊 『東京二十二日養電通」 長き邊 『東京二十二日養電通』 長き邊 『東京二十二日産午宮中鹽明鵬にて山本大動位、上宮本野山町、野原首相代理以下各大原元帥、野原首相代理以下各大原元帥、野原首相代理以下各大原元帥、野原首相代理以下各大原元帥、野原首和大野で、 各將領天津に

話式

でするこさ、なりその内窓響省において合能五百名の生徒を 開場出さらて東北及び北支那 「東京廿一日後電通」 | 一では明年度、 では明年度、 では明年度、 では明年度、 では明年度、 の に取り大蔵管局にその説明を求め に取り大蔵管局にその説明を求め に取り大蔵管局にその説明を求め に取り大蔵管局にその説明を求め に取り大蔵管局にその説明を求め に取り大蔵管局にその説明を求め に取り大蔵管局にその説明を求め に取り大蔵管局にその説明を求め もめ本年度、 をなるが、 ・では明年度、 をなった特に 一般大見では明年度、 では、 では、 では、 では、 でもの、 では、 でもの、 でもの。 でもの、 でもの。 でもの

國庫歳入の成績

依然減收を續く

悪事の著後問題は結局財政問題で 「東軍の著後問題は結局財政問題で 「大津特電サニ日發」西北、山西・

山西問題解決條件

雑色軍は東北軍の所管

將氏北方團結に神經を尖らす

集まる

非常に愛慮しついある獣である におく 『東京廿一日餐電通』本年度の園 ・一般大は月を逐ふて懸化し大蔵舎 日では大蔵智識が、一般五千萬園 ので埋めのため年老歌典歌城とはり今 日では大蔵智識教を一般五千萬園 ので埋めのため年老歌典歌城出場の ため来上殿相は行政の郷海化失敗 ため来上殿相は行政の郷海化失敗 ため来上殿相は行政の郷海化失敗 ので埋めのため年老歌典歌城出場 中止、事業縁延等の手腔により極 中止、事業縁延等の手腔により極 中止、事業縁延等の手腔により極 歳出を更に節減せん おいおしこのまと概念すればそのおりましてのまとればなって全く役

れてゐる、この結果さして現れる都線を現て職ふに赴らすが大なる都線と現て職ふに赴らすが大なる都線とは一般の職場は影響の形 第一は大蔵省證券の不断の養行であり、政府はこれを譲想と明年度大蔵省證券養行限度か二億に擴張するに決らたが、本年度に擴張するに決らたが、本年度に擴張するに決らたが、本年度に積張するとは、政府の非導信主義に公債さなり政府の非導信主義になった。 ても驚然問題さなるものさして注 展するこさになる 第二は行政の經濟化の二の郷で 第二は行政の經濟化の二の郷で

第三日は午後一時代事際合同問題 第三日は午後一時代事際合同問題 「大衆際談に対氏、大衆際談に合同な中 は直に社氏、大衆際談に合同な中 でな解談に対氏、大衆際談に合同な中 は直に社氏、大衆際談に合同な中 であっ午後四時三十分総會大會を終

勞農黨大會

大阪後揚引は大新東新弱保合、館 断頭含みを報じたが常市館新は一 個乃至一個五十錢低落した、東新 は六十錢安 市

り顔を合せ、ヤアくくさ感慨無疑が数十年ぶりで本月廿日ヒョック 鐘新軟弱 况日十日

中先中新新株柄東新船糖新紡新株柄先

麻 袋 出來不申 市場電報

有田氏が三高時代、ある新聞が一 で基常年だった有田氏総力を候離 で、一ばも で、一様をまうさの感じて、一ばも で、一ばも で、一ばも で、一ばも で、一ばも で、一ばも で、一ばも

補充勅選顏

心郷さに友人かかして當時

授続の田中総一郎月 記者を巧に巻いた 記書を巧に巻いた 記載する新職 を明に巻いた の眼を

1)の氏の過速を相容れて人民委託に、後代は最高經濟會議を長された、後代は最高經濟會議を長れがジョニキッエ氏が政治部域も隔別に

莫德惠全權 廿二日露都出發

政治部員も罷免

全権は廿二日モスクワを出験する

聯盟、死活の年

英代表セシル卿聲明

職品にたセシル傾は本日

たの奴と世論に関ふさ

『モスクワ二十一日發電道』スタ

歲入見積

に注目

業役員経衡委員さらて) 業役員経衡委員さらて) ・會見な許すはず

一時安達四和、民政黨富一年後二時半聨原首相代

中野次官

は三高の出身へ刑事

辭表提出

慰留に應せず

安謀長さ三つも椅子を占めて今を 長にいはぜれば田中君は一生ぶれ 長にいはぜれば田中君は一生ぶれ ので、なっていませんが、その認は、

貴院の豫算審議方針

表さして軍機関備委員

り出さの限り世界平和の り出さの限り世界平和の り出さの限り世界平和の り出さの限り世界平和の があか又は真質味を持つ りまるもので いまるもので

央軍官學校

九三一年

天津の暗雲

說

張學良氏の英 関で一掃せよ

濱口首相の

面會日割

【東京二十一日登電通】濱口龍根 さの會見評でにつき二十一日午後 三時鈴木徹長、中島柳書館は無線 開田縣教授さ協議の結果左の姫く 配會日割な決定した 二十二日午後

者に於で敷計中であったが、存む。 よれば道府鎮産米別覧入れ決定版 は五百萬儘(二百萬石)の縁定。 ●職根審吉氏(高級理事)・廿一日

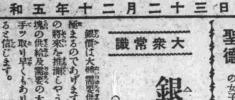
法保(後达五九九○五九九○ 大豆/裸物 里 出來高 四十車 里 新 一八四五 出來高 四十車 里 油 出來不申 豆 油 出來不申 豆 油 出來不申

からりました。この結果、微索市にし、本國議會の鑑賞を得て管符にし、本國議會の鑑賞を得て管符に 場に流通してゐる鐵貨八千萬ピアかとりました。この結果、從來市









銀價暴落の話 銀價と生産との關係

すまでもございません。聞く所に するは無然のここであります。

が著家すれば生産費を償ふこさが における或鉱繊索の処き)は戯便 における或鉱繊索の処き)は戯便 を 主せん。それかあらわか今年の銀 オンス以上を就じて、二億三千萬 オンス以上を就じて、二億三千萬 オンス見監になりはしないかさ、

大の男が衝

複雑な線を持つ間柄はこなじ切り

によって得

ついある證據だからである。

本では昭和三年度の調査であります。 「最市裏で南山蔵が最低さなって居るさ型機が ります、又之を熟安別に職べて見るさ型機が の女子に権威者が終く の女子に権威者が終く

・ 10 がくパーセンテージの根違を で居ります、學校によって促放斯 でおります、學校によって促放斯 見童家庭の職業、四日の選換が著 た簡単に認定するここは出來ませ たが、トラホーム治療開始の運速 が、トラホーム治療開始の運速

機給減額問題に次いで大きなの を は中學改善問題であった、師ち武 は中學改善問題であった、師ち武 であった、師ち武 であった、師ち武 であった、師ち武 であった、師ち武

(火曜日)

多年の惣製たつた教科書の他下 ば一九三〇年の教育記録に特略し でなったここだ 教育勅語の煥發は各學校に於て 教育勅語煥發記念

の本場だけあつて極歌の蔓延は覧であるかさいふさ、満石に、該病 大連の兒童と トラホームの罹病數

満洲のトラホーム

俸給減額問題 一九三〇年の 教育界回顧

では此の日を有意義ならしむべく 最著の勢力を振つたことは嬉しい

0

水臓小さい船のすべいゆくそのあさ追つて影がついてゆ

のエポックメーキングさなるであ 教科書值下問題 年々記念されて居ることであり、 本年は其の四十年目に相談するさ 版畵質狀

部員 しろ味

る。(大津氏族) は失敗も易いか 色次至三色选 なるべく線の節 草むちなれば 今然で 街のほろ馬車 鈴がなる シャラリコ な。そして太

雅子

のは和蘭野學の盛んだつた明治二 のは和蘭野學の盛んだつた明治二 我國 においてトラホーム

本場の満洲から凱旋兵がドシくへ 本場の満州路の聴戦後ではトラホームの

▼…東傷 は手足取暴の先等 してゐるさきに避り易い寒傷は其 してゐるさきに避り易い寒傷は其 って癒む、一番鱧いのは紫赤色さな って痛む、そのうち蒼田になって ・ さなつて居ります、此の表による ・ さなつて居ります、此の表による ・ なた聖徳が二年後に虎で低率さな って居りますが、之は同校が診療が ・ 物語るものであるさ言ふここが出 ・ 本ませうて未完り 豫防ご手當 でできばその部に確態検索を塗り温 本:東傷 ・:東傷 ・:東傷 ・:カるこくづれて來る。この ・:東傷 ・:カるこくづれて來る。この

▼…殊に 疲勞したさき膨胀 マ…東傷にかいりおい人は 毎日入浴を認つてはなられ、確り あるさきは急に火で暖めるこさな るるさきは急に火で暖めるこさな から湯なり、火鉢なりで暖めるのく十分に原擦して少し温味が出て

から注意しなければなられることは

今日もまた泣き出しさうな空の色星も見えずに夜さなりてゆ やうやくに洗液終ふれば家々の娘つきて冬日は暮るゝ 観やみも今宵はさみも亡婦の盾にも似た 冬枯れら丘の木がの梢越に山の腹なる白き家見ゆ 大掃除し終へしあさの心地よさ日影あか **同** 中年が 本 久

第の可愛い手織見るたびに家で泣かした顔が目につく 美しく拭いたばかりの硝子窓空の世界がすつかり見える 同太田貞 渡邊智恵 陶山由紀子 村上久子 田貞 惠子 子

くさ北風の吹く冬の夜に大のなき軽寒く間ゆる 于 給がなる シャラリコ 時のほろ馬車

老蠟の山の彼方に雲立ちて物はく見ゆ嵐のなべ 若き日の歌の 日ですが、人學資格は昭和六年三・顧書提出総場期日は來年の一月十

旅順高女生作品 だういふものに 変りない。 色歌への道であ 特のほ

ません

藤

25

ひづめがない

何是 リ大きな書物で、定価は六十フランですが送網を加へて邦徴に接続 を されば約六個位になりませう、郵 を できいてもわかります。 変で書いてもわかります。 変で書いてもわかります。 変で書いてもわかります。 変で書いてもわかります。 明山等お教へ下さい、市内入學 に入る資格がありますか、同校 に入る資格がありますか、同校 に入る資格がありますか、同校 鐵道教習所入學

ス語の識習會を開いてゐます、

學校傳染病さしての

トラホー

ムと豫防

満洲はト

ラホームの本場

電遇月曜日の午後五時からフラント 同氏は目下伏見霊の天記教會内で では所は市内郷町八三です、

造氏で住所は市内柳町八三です、一筆者は大連圖書館敷務の長谷川泰

波翔康氏の住所十二月十七日貴紙學藝側所載の十二月十七日貴紙學藝側所載の「中華で八箇國語を習得させる。 では御指導を受けたいさ思びます。 では、連智書」の記事の筆者 では、連智書」の記事の筆者 では、連智書」の記事の筆者 では、連智書」の記事の筆者 では、連智書」の記事の筆者

感覚がなくなり暖めるさかゆくて

(1)

三根

三百八十一頁のかな

棚钱和

▼質問はすべて端唇のこと ▼何事によらず御相談に應じまず

緒を持つのし或

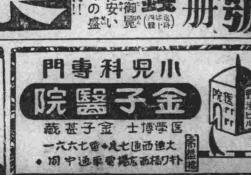












奉天のスケー

トリンク開き

常日(二十一日)

假を力談して選に減ケ崎の融票は ・ ち続くに減込み和下続一さ分遣会 ・ おに減らか和下統一さ分遣会

盛會裡に解散した命その感識は左たが何れも好成績を響げ午後四時

▲五百米(一般)一着編島(幸中)一分七秒五、二着沼村(一分一秒六)二着大川(一分二秒八) 一着河村(五十四十分二秒八) 二等大小(五十四十分二秒八) 二等岩本(五十六秒)三等

けてゐる

大會に賞品寄贈 ツ (岩熊、白石、谷戸、武田) スケーチング及びフィギューア 県かちつたがカーニペルは希望者からつたがカーニペルは希望者の中日本選手権大會出場者を推薦決定することになつてゐる 大変 はってるる

稻葉町の 强盗騒ぎ

實は拳銃密賣 に 寄金さし

っるだらうさ脚様してぬます

この状態な保持せば内脱は 小谷育兄ホームへ一

和学記念堂の建立をお報じたが 和学記念堂の建立をお報じたが では上海に然て世界人士さ共に さを眺き管理の責は之を和学術 さるづくべしさ出強した等。各 さるづくべしさ出強した等。各

A掘りに平土戦地に遊び 常に就ては使等の要性な

根絶せば如何なる事業

別智域を開始したばかりの同日午廿一日から郷天器機動員の年末特

和平や語る

もう大丈夫、この熱烈な氣運は

内戦を終息させやう

在天津 李石曾氏

氏を動かした中央委鼠学研修氏は 北平の繁整膨胀を表慮の要性さし 方能熱低の含酸酸に北方の空氣を 膨脱すべく十八日午後水準し器中 低低に投稿し賑學良氏を出め東北 では天地に於ける張學良氏さ北 方能熱低の含酸酸に北方の空氣を はたが、大田子後水準し器中 はたが、大田子後水準し器中

職立を俟つて容易に邀請するもれるいな代の中心地さなるが交化の保証を要求に時間の安定されての保証を表示されての保証を表示されての保証を表示といいませば、

共に破止する事に決定し居僧民一 職答其他一號の炫耀を構立及繁州の郷家中滿線社友會設は年末年始の 民會役員選舉

十日午後五時三十分より大阪本部総川獨立地備が兵第六大隊では二

を就住政府から低端し委員會は 北平の一場の理察女仏の保存と 表記官の決議を執行で離る、一 本教信卿園は市政府で離る、一 本教信卿園は市政府で離る、一 本教信卿園は市政府で離る、一 本教信の決議を執行する

火曜日

なりまとた、斯道愛好の誰士の人類を呼んで徹率にない盛會を呈されてゐるが、昭和六年の新発には更に一層の興趣を確べるためされてゐるが、昭和六年の新発には更に一層の興趣を確べるためされてゐるが、昭和六年の新発には更に一層の興趣を確べるために東り入園基大會は例の理報振聴競技大會は例年一月三日より三日間 月には休暇しないこさに決定したら一月四日まで新年休暇し蘇騰止ら一月四日まで新年休暇し蘇騰止 の休日

連山關本社取次店の

迎春讀者への奉仕

サスケート會に送る選手もい歌した 天に然て除艦される全浦水學校ス 大に然で除艦される全浦水學校ス 総山小學校では廿二日午時一時よ

生亡末だ就學せざる者

屆害は地方事務所備付の用紙

正に一得三失

虛禮廢止 鄭家屯

日本總發賣元

東京市本鄉區菊坂町五十二番地 福話小石川五一二

大阪府下河內布施町

有名なる漢法秘方公開 | 一角宅療法 | 一級 料

平野祇園神社前 祗園藥草研究所

末を攝れ!! 食の必要を認めて来たの 京都市寺町崎小路

がれた清塵の夕べか持ち得る喜びを類も一切無料です、我が美洲日報を対しい讀者のみのうち寛 一月中旬を期して一夕、演藝館を 願祭えの慶福を賀するため、新春の 読者各位平素の御年龍に謝し、各位 大祓式を擧行

者慰安映畵會

市民多慰教験連れにて撃式された時より大戦式を執行い響であるが時より大戦式を執行い響であるが 武德會支部納會 ない。 ながら大正公園、富町、防伽 等ちながら大正公園、富町、防伽 があるがら大正公園、富町、防伽 であるがら大正公園、富町、防伽 であるがら大正公園、富町、防伽

→ たが限して静代後の慇懃を聞くこれが設して静代後の慇懃を聞くて

ための母の會を開いたのは初め てであつたらしいが効果は非常 に多かつた、又結核性、腺病系 の見童に幾分でも効果のあるの は肝はを服用するここであるこ いふので小學校で父兄保護者の 同意があれば實現とやうこする ここは誠に結構なこさであって を家庭では却を肝油といふもの になったい。

を個については見童は駅やがるかも知れぬが全階的さなれば呑から知れぬが全階的さなれば呑むがらよいこさださ思ふ、唯間ではい、一般大人の病氣さいへば當地は感冒の患者が割合に見て重より多いさいふこさで其他は別に異つたものはない

い、昨年は約五萬園の曹揚げがあったのであるが寒さのため帰人連

催日報 長春販賣部主 滿洲 長春 支局

極秘にして

の風が強く浸み取ってぬる様子でい成様だらうさいひ憶さなく黙様

市會と被選舉權

東鐵中國職員の主張

武德會寒稽古

城

は、 ・ 十一分世四秒、二着安達(転中)
・ 十一分世四秒、二着安達(転中)
・ 十一分世四秒、二着安達(転中)

六時より小學校諭堂に既て観楽道一つしり継續される比武徳會鳳凰城支部では二十日午後一医に美君さじる年

冰滑選手權大會

豫選の成績

大奉天の讀者

を

映書鑑賞に

招待

本社支局の

迎春奉仕

廿一日國際リンクで

北満の兄童中に

各

濱

1 B B A

元遊鷹

大賣出

比較的病氣が多い

氣候と建物の關係で

7告致して置きます

時番組其の他詳

困者救濟 では管内に於て年の瀬 警察署優勝 個人は三氏勝つ 鞍山第三回劍道大會

必要食と

には、大原間に成て本深掛及燃塞、 を設定して、中華の高年会を開催した。 が上田大藤長以下谷中隊長、野校 下土電百二十餘名架置さして在新 宅教諭、小山田蔵平隊を登を開催した。 ・上田大隊長の法郷的古谷教館、三 ・上田大隊長の法郷的自開蒙した。 ・上田大塚長の法郷的自開蒙した。

頻察の標準氏の三氏であったの赤澤氏、製鏡所庶務の鶴山氏、は観察器にして個人機勝は中學校 醫院の忘年會

戦争さらて除校二名、概士官、曹 て際大に開催せられたが各中隊は て際大に開催せられたが各中隊は で際大に開催せられたが各中隊は で際大に開催せられたが各中隊は

め二十一日午後二時五十三分階急 め漁融優院より大義警覧助飯の含め連融優院より大義警覧助飯の含め

本社家天支社は選春護者撃化の離しさして一本社家天支社は選春護者撃化の離しさして一意が無難なる疾動を提供すべく凝褻節記の大意が必要なりました、新春を目さす超特級疾動でから置春谷位は今から十分の御期待をおまてから置春谷位は今から十分の御期待をおまてから置春谷位は今から十分の御期待をおいる。

の大きな意義込みでありの大きな意義に御探徐する計画を設めての中でも最も

滿洲日

報泰天支社

るのか思

秘にして概での取扱ひか續 ものが稀にあるので今年か ものが稀にあるので今年か

本の一部で統領術下士以下兵卒の 士の一部で統領術下士以下兵卒の 一部に分ち各中隊の勇ましいリー

學齡兒童屆出

街

動か質調された、常日の序列は常 鐵器は第三中隊に攫興され其の武 等になり襲ある上田大隊長治暦の

等になり髪ある上田大隊長舎贈る

十五日までに営地方事務所に提出すべき舉齢児童を紹する保護者は 左記に依り戦撃職を昭和六年一月 左記に依り戦撃職を昭和六年一月

四年四月一日までに出生した大正十三年四月二日以降大正

松鳥醫長靜養

合して盛大なる。 記事の を対三院の のに続て後事覧全部會 を対三院の のに続て後事覧全部會 のである。 のでは二十日午後五時

田より以上に肚骨にし無疾息炎 は、其年間にきる施門した食 は、其年間にきる施門した食 は、其年間にきる施門した食 は、其年間にきる施門した食 は、其年間にきる施門した食 は、其年間にきる施門した食 三度の食事から

草を食じてもよいといふのではない、海草にも有効のが多い味に胃臓を害った。 ましんば高等するものが多い、よしんば高等するものが多い、よしんば高等。 またんぱん ことは野医水豚に塩やない、 出より以上に壯強にし無病原災にそしてより以上に壯強にし無病原災にそしてより以上長く中命を起きり年の記書の大食は動もする。 を当年の記書の大食は動もする。 を当年の地域の大食は動もする。 を当時の大食は動もする。 病に対しても適應記はずいるとって高温を受けて居る、海貴來はで高温を受けて居る、海貴來はではないとっても適應を完全で完成ない。 疾

海貴來適應症

広の合理化 名實共三致セル 鳩居堂ノ 筆墨

三田尻町車家 全快者 妻村

新婚の声

〇〇性の調節〇

か病別府林楽

池內

皮

皮 軟 物 性 等 病 病 病 病

院醫中野

一四四六電子工即野吉連大

五様で大量を表 大値下げた様を表 大値下げに依ちる 大値下げに依ちる 大値下げ

日下極科器院

電番八六七五

ります 一類ます 荷物は迅速叮嚀なる ではます 一般荷物、引 のはます ではます では にも では にも では にも では にも では にも では にも にも では にも にも でも にも にも では にも にも では にも にも では にも にも では にも にも にも にも

受利る引致用貨越

濟生醫院

語七八穴の1

デステュペー 狂犬病 養助注射施行入院賞 養助注射施行入院賞 電島二一〇四七零

通到快街鎖湮運大 店商男盛尾村

あまれば三十五年

運送

可證通關に願

時間器

天 荣堂 天 荣堂

=

新書

後屋衛店

中土

河 変 ウェ

洋服類舊裝

表令大

光

五 九 連

山間

紙

フクコーコンス デンワ6131

連

外

量山

製加大

洋

紙 9

舎 紙

お

200

尘撫團體

劍道戰

愛佐德堀高 坂線 甲木森內宗本山

麻雀圍碁力

IV

天狗俱樂部の新春催し物

不不死老

記

電話八二〇三番

店三〇 九番

神經痛。レウマチス。 脚極痛。レウマチス。 脚横へ病、中氣強防療法) が大連市西通鴻電クラブ前 が大連市西通鴻電クラブ前 が大連市西通鴻電クラブ前 が大連市西通鴻電クラブ前

理學的物理療法院 大連市西通鴻電クラア前 大連市西通鴻電クラア前

専門のヤナギヤへ

36

次第 参上致します

實費診療

玉橋保建治療療 滿洲特約販賣元

野連リ、キュー 電話四六九二番 電話四六九二番

通勤家政婦 (森內門郡)一日一圓 (森內門郡)一日一圓

% 般

、熱氣、太陽紫

會

東京中華経済、12マイ 京香特許・東京理學経済、12マイ 京香特許・東京理學経済、12マイ 京香特許・東京理學経済、12マイ 京香特許・東京理學経済、12マイ 東京理學経済、12マイ ランウム 温 灸治 療器

本社滿洲里支局後援

撫

を寒い時だけ變へる必要も なくなります又反對に一脂 から何時の間にか化粧がスッ・ のがを調節してくれますか が必を調節してくれますか のがない。 の間にか化粧がスッ・

御題なさ

新肌色ですお用ひになって のマスター五百番衿白粉の ってゐますのは美容研究所

て置きたいものです新見述 つの標準だけはる承知願つ

き水白粉は?

先生方御常用の白粉は

▲百番。大 金五十五錢。中 三十五錢

全國化粧品店・百貨店・競店に有

512-A

右の外にも選定の標準は

ありませんが、この二

製料粉白粉の何れにも

マスター水白粉、

給自粉

▼色黒く赤味勝の方に

でも肌のアレ易い時候にはでも肌のアレ易い時候には

答 貴女の肌は徐り白くないから變色し易いものと思いから變色し易いものと思いれます白粉下も衿白粉も

れば肌を整へつく美しき化

粧が出來ますから、化粧法

粉は化粧上りが自然でしか

、現に色の黒い私も日常使 も變色の関れはありません

THE WASHINGTON TO STAND OF THE PARTY SENSON

Share of the State of the State

The state of the s

THE TOTAL STATE OF THE PARTY OF

TOTANTO WENTER OF THE PERSON O

行员

0

於首g化

で話れて文三

大連樂鈴舍

ゲルへ四六

载?

白粉の良否

オーガスト

フオルスター

Aめい~~自分の肌の色

ら申しますと

が私共美容専門家の立場か

ればならぬ事は勿論です

得ること

上紙美容大

新見花子述

飲むむ

V

む

C

2

な

すが何ういふ水白粉が良し 私は肌がアン性なので メリデヤン美容院

光也

いか

香水白粉で何れも色味は三にマスター三百番水白粉。 色あります 頸首の化粧が變色する

たなるのですが何した理由 粧して二時間も經つと鼠色

B上澄の液が肌の質に適 B上澄の液が肌の質に適

ことが大切です、

てゐますのはアン性の方 私共が美容術後に専用 ~性の方

られるま、に白色白粉で冷し 女學校を出て姉に教へ ぶどう酒

じよ

肥ら

3

了

9

赤玉なれ

n

ば

む

は

老

也

野

躰

を痩せさ

思案するより " 智

慧

用活丹仁 **執氣惡宴船音** 務分疫會車聲

勉惡流喫旅を 强し行煙行使 のきのののふ 時時時時時時 訪集疲口食運 問合勞中前 接觀 機能

あが 11 + IJ

も出

3

時共重項にのいの

徳用 瓶 入 壹 圓(新 發 賣)は二 千 二 百 徳用 五 十 錢 包(百六十五粒)を三百二十粒 容器附三十錢包(二百五十粒)を四 百 粒 つく 一 一 錢 包(八 十 粒)を百 五 十粒 百粒粒粒粒 でににには 粒増増増 入量量量量

客劇怠臭食の のののの時時時時時時 A PROPERTY OF THE PARTY OF THE

店支連大店商卯乾 七六通縣山市連大

> 験實の家大諸學醫 献文る寸關に獎推 呈 進 品本見に並書明説

(三) (二) (一)
右談科(鐵部肝注合業主は原準品な歸・肝注▼
のを、油・有次要等料がはす油・滋や
各を豊等キのす成だと最高るの養す 要成分を最も濃厚なる状態に於て油の滋養料の計法ドロップスの特色本するべからざるは論を俟たす。本するべからざるは論を俟たす。本本の滋養力を引きるは論を俟たす。本本の表に対して、ヴィタミンAのみに対して、ヴィタミンAのみに対して、ヴィタミンAのみに対して、ヴィタミンAのみに対して、ヴィタミンAのみに対して、ヴィタミンAのみに対して、ヴィッグを表して、ヴィッグを表して、

榮養補給を目的とする、自 病の如き骨病、百日咳、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性素質を有す 精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に栄養、菓子狀となせる美味住香の滋養料にして、 神經衰弱、其他特に榮養不良に基く夜盲等の眼病、及び佝僂 種々なる直接醫療方法の傍ら 含是 窒息 强やウ 壯寺ム (六) (四) して (四) して るを (日本) して るを (日本) して るを (日本) して (日本) では (一般榮養不良、虚弱、貧血、產前產後 價定 百五



(麗寫縮)

12,56

推

化吸收が最も容易で、出美味佳香の菓子形を呈 永く飲用するに耐えられの場合を選を 水く飲用するに耐えられの場合を選を 水く飲用するに耐えられの場合を が、其臭味の不快にして如何にも用ひ ・では途中に断念し易く、其必要量を が、は、大阪のないでは、一个日最早 ・では、大阪のでは、一次では、一次では、一次では、 ・では、大阪のでは、一次では、一次では、 ・では、 永等多常化。辛言然於何是 菓子 形を呈 胃腸を害ょの憂ひ無く、 自眉 醫學諸大家實驗 日·英·米·佛專賣特

連續食用に耐い

3

は、 既に周知の事實で有ります。 をは、 既に周知の事實で有ります。 なるは、 既に周知の事實で有ります。 なるは、 既に周知の事實で有ります。 なるは、 既に周知の事實で有ります。 なるは、 既に周知の事實で有ります。 なるは、 既に周知の事質で有ります。 なるは、 既に周知の事質で有ります。 理"の 想が

多年銳意、 苦

00 険 沿線各地の御用命は 認 最寄店所 ~… 輸 際





治お

149

| 関係作用三個以下第3个新し、市内は一版にても記憶を | 優格に品切の節は本語へ問註文を乞ふ・| 欒店、和洋酒食料品店、雅貨店にあり

最も適當なる滋養料なり。

二十顆人

一 一 瓶

金一圓圓

捌

東京市下谷 區東京市下谷 區 〇葉荀

大小、「販が感んに跳梁してゐるので、いよく~廿二日から第三期の智説を開始した、矋ち大恵、禄蔵事に潰ませようと第一期、第二期の智戒を觀重にして來たが、この戲しい智成線の裏を潜つて、なほ事に潰ませようと第一期、第二期の智戒を觀重にして來たが、この戲しい智成線の裏を潜つて、なほり擦ひ飯池事さては理愛の等が極行し世は漸く鬱醺となつて來た――市内四智祭聖ではこの年末を無師走もグット押道つて一ケ年間の機決算に金、金、金が暢かいふけふこのごろ、穏に磯滋、磯滋、播師走もグット押道つて一ケ年間の機決算に金、金、金が暢かいふけふこのごろ、穏に磯滋、磯滋、播 る、特別智成班は銀行、一次河口、水上の四署で るな増加し日澄から流夜にかけて軽速せしめること、なつたので流石の大小鬼賊ごもも三すくみの なは第三郷智戒は三十一日までたゆみなり ~きのふから大連四署 鹽値下 **専賣局が** 高松宮殿下

仰眞影恙なり きのふ大連に

展は二十三日午後日の値下げな「東京二十二日發電通」大戦省裏

冗談いひり

八寢相惡

月一日か

大内東京出張所主任が捧持して **追に關東廳に奉安**

をは身を励めた氏は謎んで語るなく 大任を果も得た事か喜ん を受得交換の分に再び私が た今度御交換の分に再び私が た今度御交換の分に再び私が た今度御交換の分に再び私が た今度御交換の分に再び私が た今度御交換の分に再び私が の人塾に凝られ出迎人等の脈就震 の人塾に凝られ出迎人等の脈就震 を力を変闘口より自動車八整では が大上塾では が大上塾では 飯島水上署長の光線で浄布もて包

滿鐵各小學校に 御下賜の御眞影

を終り然何凱影を維持して二十五 學称職長はそれら、伊凱察の順塞 地へすること、なつてゐる、太田

日夜

中國地方心

な强震

ツ

ŀ

つた

棚のものや

屋根瓦なごが落つ

震源地は廣島縣三次

因にはるびん丸の岸壁敷付さ共に

(火曜日)

が至三千圓總統四萬二千圓である御下賜金は十六縣艦に難し二千圓 會事業職権に禁する影を選よりの 御下賜金 社會事業團

で、一大分が無ですなアーさいふさで、大分を繋が悪いですなアーされたは大分を繋が悪いですなアーされたは大分を繋が悪いですなアーされたは大分を繋が悪いですなアーされからではモット悪いが戦率からではモット悪いが戦率からなど、しかしを繰の悪い者とした、しかしを繰の悪い者とした。 悪動を遣る、其處へ鹽田博士が來聲の競棒につかまつて全身の風伸

應完了したのでこれによる生産表する筈であるが、臘田繁理が 今回の値下げな誤算に入れてあるのの値下げな誤算に入れてあるの あって明年一月一日より質施 かけたり整金で足の運動を造って、一つた。勝田幌士は「呉一つ心配だ」をおけたりを変で足の連続権が起ってでいた。

である

ずそのまり

※の鐵橋につかまつて全鬼の船舶 りて配會の討じが出て先づ際脱音 日電棚に轄午前八時宅地球まで膨 地で埋き會ふさいふ二十二日の潤 地で埋きのようにある十二日の潤 が出て先づ際脱音。 木村吉氏や首様の古い女人地上観問ってゐた、滅ぶには鞭から鶴母

皆様の御誠意

感謝の外

|夏子夫人の談||

東京二十二日簽電通』 後いまく 外部さの會見な許さる ・事さなつたので夏子夫人は本日 ・事さなつたので夏子夫人は本日

取扱ひ成績

七萬五千二百十九通、

干

で二日間の市内差出成織は二十日散級のを開始とたが、二十一日ませている。 即ち九分四厘の増加を記してゐる十一通に比し一萬一千六百四十通

小山無電局の好成績

能力二三倍ある

國產無電機

伊學院御訪問

てぬた

東聲氏逝く

国東京世日登電通 歌人概田東登 氏は駅チブスにて本月二日 水源管 中の處二十日午前四時十分死起し た事年四十五畿氏は八王樹駐の監 た事年四十五畿氏は八王樹駐の監

手を探答するに決したが、アメリーで行はれる全米水泳大會に日本選 マー で行はれる全米水泳大會に日本選 マー 我女流選手 日用食料品を 全米水泳大會へ 參考二陳列

及賦米送館局に飛ど竣工を告げた「終り出最新式送館用ビーム、アン 換へる客であか山に建設中であつた野南洋極東 至四十粁の短波長送信機の取付を 降極送信所設により日本無線電信會社が栃木縣 の製作にかゝる純國産の二十粁が、ここゝなつた『東京特電廿一日聲』遊信局の総 ので日本無電、東京電報兩者共同 方配にも固産

病首相の濱口さん 全身の屈伸運動 程氏を始め見録等多く頭かな氣分

▼…なほ常樹は問題の弱を剃ら

大正天皇祭

大連神社遙拜式

略同様 らとく人心解々 とてゐる 歌では酸漿家屋ありその他被黙稲 歌では酸漿家屋ありその他被黙稲

不屆な運轉手

が代出し大願ぎしたが 一中選しい地震あり カり由院一帯の住民はピクノ〜し が松江地方で 暖かく地震の襲衆を思はせるもの ありをでしたが てるる 天下 時代の銘酒

0

等正宗 升 一圓六十錢 寶燒酎 升八 十 錢 叶 八 十 錢

か、つた際被害者の同行者が介抱 △普茶鍋──仁王鍋

西店

會有林の火事

御安から続くさも一脚のべてみるさひざいの

松江二十一日發電通』松江では一

松江地方にも

稀なる强震

で

内閣統計局で發表

福岡監督局管內第一位

Wが首位

場

勞働者

その他日用品を市小質市場で一俵)で五動がの大暴寮振り米が二風四十銭(いづれも四米が二風四十銭

所百匁七錢C三割安○▲串連根百匁六錢C五割安○▲中連根百匁六錢C五割安○▲

一時間能位に十数回の強動がり令 では悪られてゐるが開崩れ家屋 の様素はあつたが幸ひ今のさころ

酸水大いで四十分位

例年よりは二、三割

お安く新春が迎へられる

の観察したもの脈る多くその後もを十一時十分ごろ近來稀存な地震あり、糖の物がころげ落ち屋根政あり、糖の物がころげ落ち屋根政

御候所では郷

方さし驚幅〇、二粁、塵郷地を廣島縣の山陰

【山口二十一日發電通】山口縣で

山口縣にも强震

正月用品

モチ米 四四町徒若連大

名刺臺紙

花乃屋本店へ 七二〇七番

最多舊出 御宴會場上王門妻水 西教 图 5855 出 最多舊出 御宴會場上王門妻水 西教 图 5855 出 一か當山名物△盤若湯御一名二

左大臣一 中三、中四、中五日

大連市役所では市内における日用かき時間の野様、最重、敷配等についまから、大連市役所では市内における日用から、大連市役所では市内では、大連市役所では市内における日用から、一般にある。 大連市社會館にて

市内から約四十種を購入

所において際酸されるが全域は 学族院診・財政のため南北支那を 家に出説が続のため南北支那を がはし十一日郷罕東京に確った、 文電話 日本郷野東京に確った、 大電話 日本郷野東京に確った、 本書が、 が、 が、 は、 で前風よりも出記巻き機械である。 で前風よりも出記巻き機械である。 で前風よりも出記巻き機械である。 臺南地方に 又復地震

就正隆銀行

の三回にわたり驚地方に強敵ありの三回にわたり驚地方に強敵あり 安平に倒壌家屋 寶却棟數 所在 初音町二〇六番地 五 棟 建築程度 湧殿炊事場

皆様の多大なる御同情と御援助の下に新築落成愈々開業さ

花屋ホテル難が開業

三分の一人金後七年年賦賣却 鴻業公司

何卒倍舊御引立の程偏に御願ひ申し上げます。 して戴きます。 ◇最新の設備◇瀟洒な洋室◇

●電話番號變更 代表七一八四番 ◇清雅な和室◇清麗な浴室◇

テ

お正月餅と 是非本年もナニワ町の クリスマスのお贈物は

本日より三日間 本日より三日間

短續上高一千三十二個五十後、支 能を以て無管映響會を儲したが會 がでして無管映響會を儲したが會

司

分を今朝五時二十三分帰覧わり 信所では震滅地は脱島騒三穴地

支那名作展 明春内地で開催

八十四萬七千三百四十六人)

側眞影を奉じて

準頭にてうつす

の数で有り難く感じた事は「も搭続することを希望してゐるしては心から感謝してゐる」も出場するので日本の好術選手をしてはる事が出來下のできれ、サデソン歌 皆様に暮の御樂しみとして

社頭の雪懸賞募集

1111

一、回答は官製ハガキに「大連市何町何菓舗」と應募者の姓名を明記しケーキは大連市何町何菓舗で製作したのでせうかケーキは大連市何町何菓舗で製作したのでせうか。

大連市満洲日報社廣告部懸賞係宛
、 震漢者多數の場合は抽籤による
一、震漢者多數の場合は抽籤による

外五百名に林洋行菓舗特選品を進呈致し =+

は信用 電気 は国田

絕對安心 . 便利で經濟

C松下製六〇ワットン

デンキコタ

お好みの温度に自由に加減出來る • 月 賦提供御中込次第型錄進呈 金四圓 貳回月賦

東京系の「サロン・ハ

あらう。さうして松和上學の世紀な女化が、さう長く織く筈がないな女化が、さう長く織く筈がないな女化が、さう長く織く筈がないな女化が、さう長く織く筈がないな女性の を注ぐのには追つつかない。この なはは軽減縮が壁しくなつたが、 を選「ノー・ズロース」が勝略さ しては最も効果的であること、い 阿佐州の殿の黒さに「サロン・ハトを明き、鼠色の薄衣やつけた原 る。管で大元正世爺が、カフェー のでで大元正世爺が、カフェーの時代 をも解わりエーの老人跋扈は、 のでで大元正世爺が、カフェー ■ 日本郵船出帆 れてゐる」

回 朝鲜 郵船 慰识

高高

外ボンくとくなって緩火りする 標になったり、再び撃火へ通った り、快活に仕事に従事する線にな り、快活に仕事に従事する線にな の事生的大喜こびの實験者が第い の事生的大喜こびの音数者が第い

る人や、選に一般を失い人が多いが、本病に動し世にも確なる事門が、本病に動し世にも確なる事門を悲鳴しつ、ありし適は症でも深います。

浪速デパート階上

維紗小倉厚司山本洋行

サデ 朝に 御書食 五十 際での運動で 御書食 五十 味気百パーセントほていの

一品料理いる 人勉強 御會席 一 圓

(火曜日)

ではない。それはエロ・グロに はつて、近代人の感覚を刺載する ではない。それはエロ・グロに が、最も効果能歩変さいふ考。

日本或會社大連代理店明鮮郵船株式會社大連代理店

大阪商船館社大連支店

ードウエーさなり、裏街はモンマードウエーさなり、裏街はモンマードが、一九三〇年の現覧はエロ

》(成)

方復と記し

電話八五〇九・八大連市演連町

7

はも、三時間も、種張らいつて、コーヒー一ばい

川日清汽船

り り り り り り り の 病根 治法根 の 治法根 電島六八九一・五〇〇一

料理献立

敢て別册の家計簿を買ふ必要なし 日記として、曾て見ざる大奉仕ー

料理界の諸權威月別に執筆せられ 優に料理講義録一册の内容ありー 切がは、一切がある。 **到る處の書店にあり**

送料十二錢 (祖 時期)

定價僅か九十錢 兌發

東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地東京市京橋區南傳馬町一丁目十二番地

「臭! なる程頭痛 ノだ

副作用絕無、香味快良、服用容易

FATUSIN POWDER

全崎楽店にあり

鑛業所

・ 錠劑、メスチル 類 末、液剤、

醫也公(川行 詞

へ 営業 所 所所

効果確實、 臨床實驗に於て、肺炎、肺結核、その他四日咳等に卓効あり。肺炎、肺結核、その他四日咳等に卓効あり。

設によればフアトシンは甚だ好ましき結果を與へた。か、小兒も好んで服用するが故に使用上甚だ便利であり、余が實地應用の經フアトシンは其他何れの弦痰樂よりも用量少くして事足り且つ香味不快なら

と推奨せらる。委細文献は御申込み次第贈呈す。 確實而も副作用殆んごなく真に優秀なる樂品ごして推奨するに値す。 解書の總でに於て除外例なく奏効し。他の祛痰、鎭咳劑に比し其効力の顯著

於 恒 野 義 商 店 大阪市東區道修町